注３ **大学番号：１５２**

認可

［平成28年度設置］

計画の区分： 学部の設置

注１

金沢星稜大学　人文学部

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人稲置学園

令和元年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　大学事務局

職名・氏名　庶務課長（ショムカチョウ）　宮一（ミヤイチ）　拓克（ヒロカツ）

電話番号　０７６-２５３-３９２４

（夜間）

ＦＡＸ　０７６-２５３-３９９５

ｅ－mail　shomu@seiryo-u.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学部名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学新設の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については，平成３０年３月２６日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文学部

＜国際文化学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況，経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０

添付資料　学科会議に関する規程

ＦＤに関する規程

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人稲置学園

（2）大　学　名

金沢星稜大学

（3）調査対象大学等の位置

〒９２０－８６２０
石川県金沢市御所町丑１０番地１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ イナオキ　シンヤ ） 稲置　慎也 （平成２８年４月就任）		
学　　長	（ ミヤザキ　マサフミ ） 宮﨑　正史 （平成２６年４月就任）	（ シノザキ　タカオ ） 篠崎　尚夫 （平成３０年４月就任）	任期満了に伴う学長交替のため（30）
学 部 長	（ カワムラ　ヨシハル ） 川村　義治 （平成２８年４月就任）	（ オカモト　ヨシカズ ） 岡本　芳和 （平成３０年４月就任）	任期満了に伴う学部長交替のため（30）
学科長等	（ オカモト　ヨシカズ ） 岡本　芳和 （平成２８年４月就任）	（ タナカ　フジミ ） 田中　富士美 （平成３０年４月就任）	任期満了に伴う学科長交替のため（30）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
		年	人	年次 人	人	
人文学部 国際文化学科 学士（人文学）	文学関係	4	75	―	300	

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ 入学定員	人 75 ― ―	人	人 75 ― ―	人	人 75 ― ―	人	人 75 ― ―	人	0.76倍	－	
志願者数	329 ― ―	― ―	305 ― ―	― ―	345 ― ―	― ―	518 ― ―	― ―			
受験者数	327 ― ―	― ―	300 ― ―	― ―	335 ― ―	― ―	506 ― ―	― ―			
合格者数	101 ― ―	― ―	137 ― ―	― ―	192 ― ―	― ―	304 ― ―	― ―			
Ｂ 入学者数	36 ― ―	― ―	37 ― ―	― ―	60 ― ―	― ―	97 ― ―	― ―			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.48		0.49		0.80		1.29				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	36 － －	 － －	37 － －	 － －	60 － －	 － －	97 － －	 － －	
２年次			36 － －	 － －	37 － －	 － －	59 － －	 － －	
３年次					35 － －	 － －	36 － －	 － －	
４年次							34 － －	 － －	
計	36 － －		73 － －		132 － －		226 － －		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成28年度	36 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	73 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	就職（1人）
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	132 人	3 人	平成28年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学（1人）
			平成29年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学（1人）
			平成30年度	1 人	0 人	就学意欲の低下（1人）
令和元年度	226 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = 0 / 36 = 0 %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 1 / 73 = 1.36 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 3 / 132 = 2.27 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 226 = 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜人文学部　国際文化学科＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
教養科目	ゼミナール	基礎ゼミナール	1前	2			1	3				兼5
	英語系	Conversation Skills Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Phrase and Expression Training Ⅰ	1①②③④		2		1					
		International Testing Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅰ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅰ	1①②③④		2		1					
		Conversation Skills Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Phrase and Expression Training Ⅱ	1①②③④		2		1	1				
		International Testing Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅱ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅱ	1①②③④		2		1					
		Conversation Skills Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		Phrase and Expression Training Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		International Testing Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		Reading Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼1
		Writing Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼1
		Conversation Skills Ⅳ	1①②③④		2							兼1
		Phrase and Expression Training Ⅳ	1①②③④		2							兼1
		International Testing Ⅳ	1①②③④		2							兼1
		Reading Skills Ⅳ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅳ	1①②③④		2							兼1
	人文系	哲学/Philosophy	1①2②		2							兼1
		英米文学/English and American Literature	1①2④		2							兼1
		宗教学/Religious Studies	1①2④		2			3				兼3
		文化人類学/Cultural Anthropology	1①2④		2							兼3
		人文地理学/Human Geography	1①2④		2							兼1
		異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③		2		1					
		日本文学	1②④		2							兼2
		歴史学	1②④		2							兼2
		心理学	1②④		2							兼1
		論理学/Logic	1②2③		2							兼1
		倫理学/Ethics	1③2④		2							兼1
	社会系	経済学/Economics	1①2③		2							兼1
		日本国憲法	1①③		2							兼1
		社会調査論	1①③		2							兼1
		観光論入門/Tourism	1②2④		2							兼1
		法学	1②		2							兼1
		政治学	1③		2							兼1
		経営学	1③		2							兼1
		社会学	1④		2							兼1
		コミュニケーション概論	1④		2							兼1
	自然系	基礎数学	1①		2							兼1
		情報リテラシー	1①③		2							兼1
		情報学	1②④		2							兼1
		統計学	1③		2							兼2
		自然科学概論	1③		2							兼1
		環境学	1④		2							兼1
		自然地理学	1④		2							兼1
	スポーツ系	健康科学演習	1②		2							兼1
		スポーツ科学演習	1③		2							兼1
		健康・スポーツ科学概論	1④		2							兼1
		教養科目合計(51科目)		2	100	0	5	5	0	0	0	兼31

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
教養科目	ゼミナール	基礎ゼミナール	1①②③	2			0	2	0			兼4
	英語系	Conversation Skills Ⅰ	1①②③④		2			1				兼1
		Phrase and Expression Training Ⅰ	1①②③④		2		1					
		International Testing Ⅰ	1①②③④		2			1				兼1
		Reading Skills Ⅰ	1①②③④		2							兼2
		Writing Skills Ⅰ	1①②③④		2		1					兼2
		Conversation Skills Ⅱ	1①②③④		2			1				兼2
		Phrase and Expression Training Ⅱ	1①②③④		2		1	1				
		International Testing Ⅱ	1①②③④		2			1				兼1
		Reading Skills Ⅱ	1①②③④		2							兼2
		Writing Skills Ⅱ	1①②③④		2		1					兼2
		Conversation Skills Ⅲ	1①②③④		2							兼2
		Phrase and Expression Training Ⅲ	1①②③④		2							兼2
		International Testing Ⅲ	1①②③④		2			0				兼2
		Reading Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼2
		Writing Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼4
		Conversation Skills Ⅳ	1②③④		2							兼2
		Phrase and Expression Training Ⅳ	1②③④		2							兼2
		International Testing Ⅳ	1②③④		2			1				兼0
		Reading Skills Ⅳ	1②③④		2							兼2
		Writing Skills Ⅳ	1②③④		2							兼3
	人文系	哲学/Philosophy	1①2②		2							兼1
		英米文学/English and American Literature	1①③2④		2							兼1
		宗教学/Religious Studies	1①2④		2			2	1			兼1
		文化人類学/Cultural Anthropology	1①2④		2							兼2
		人文地理学/Human Geography	1③2④		2							兼1
		異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③		2		1					
		日本文学	1①④		2							兼2
		歴史学	1②③④		2							兼2
		心理学	1②③		2							兼1
		論理学/Logic	1②2③		2							兼1
		倫理学/Ethics	1③2④		2							兼1
	社会系	経済学/Economics	1①2③		2							兼1
		日本国憲法	1①②③④		2							兼2
		社会調査論	1①③		2							兼1
		観光論入門/Tourism	1②2③		2							兼1
		法学	1①②③④		2							兼2
		政治学	1②		2							兼1
		経営学	1③		2							兼1
		社会学	1④		2							兼1
		コミュニケーション概論	1①②③④		2							兼1
	自然系	基礎数学	1①②③④		2							兼1
		情報リテラシー	1①③		2							兼1
		情報学	1②④		2							兼1
		統計学	1③④		2							兼2
		自然科学概論	1③		2							兼1
		環境学	1④		2							兼1
		自然地理学	1②		2							兼1
	スポーツ系	健康科学演習	1②		2							兼1
		スポーツ科学演習	1③		2							兼1
		健康・スポーツ科学概論	1④		2							兼1
		教養科目合計(51科目)		2	100	0	4	4	1	0	0	兼37

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	基礎科目	比較文化	1①②	2			1	2				
		ワールドトピックス	1②③	2								兼2
		日本社会と文化	1②③	2			1					
		小計(3科目)		6	0	0	1	2	0	0	0	兼2
	基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②	2				1				
		Language and Culture	3①②	2			1					
		Religion and Culture	3①②	2				3				
		小計(3科目)		6	0	0	1	3	0	0	0	0
	発展科目 比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1					
		Asian Society and Culture	3①③		2							兼1
		European Society and Culture	3①③		2							兼1
		Christianity and Culture	3②④		2			1				
		Islam and Culture	3②④		2			1				
		Buddhism and Culture	3②④		2			1				
		Hinduism and Culture	3②④		2							兼1
		American Society and Culture	3②④		2							兼1
		African Society and Culture	3②④		2							兼1
		Field Research Practice	3②④		2							兼1
		Ethnic Minorities and Their Cultures	3③4①		2							兼1
		Art and Culture	3③4①		2							兼1
		Gender and Contemporary Society	3③4①		2							兼1
		Japanese Folk Culture	3③4①		2		1					
		Contemporary Japanese Culture	3③4①		2		1					
		Noto Field Work	3③		2							兼1
		Globalization and Local Culture	3④4②		2							兼1
		Thought and Culture	3④4②		2							兼1
		Food and Culture	3④4②		2							兼1
		Clothing and Culture	3④4②		2							兼1
		Housing and Culture	3④4②		2							兼1
		金沢文化演習	4①		2							兼1
	発展科目 観光学系	Tourism Studies	3①		2		1					
		Hospitality	3①		2			1				
		Leisure Studies	3②		2							兼1
		Tourism Practice	3②		1							兼1
		Tourism Culture Practice	3②		2							兼1
		Tourism Industry	3③		2			1				
		Tourist Destinations and History	3③		2							兼1
		Hospitality Practice	3③		2							兼1
		Culture and Society in Tourism	3④		2							兼1
		Tourism Policy	3④		2		1					
		Tourism and Regional Studies	3④		2							兼1
		Tourism Management	3④		2			1				
		Tourism Information	4①		2			1				
		International Development	4①		2							兼1
	発展科目 英語学系	English Linguistics	2②3②		2		1					
		Practical English Grammar	2②3②		2		1					
		Interpretation Practice Ⅰ	2②3②		2							兼1
		Phonetics	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Translation Practice Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Interpretation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Translation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Practice in English Linguistics	2④3④		2		1					
		Tourism English Ⅰ	3①		2			1				
		English Teaching Methodology Ⅰ	3①		2		2					
		Tourism English Ⅱ	3②		2			1				
		English Teaching Methodology Ⅱ	3②		2		2					
		English Teaching Methodology Ⅲ	3③		2		2					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	基礎科目	比較文化	1①②	2			**0**	**1**	**1**			**兼2**
		ワールドトピックス	1②③	2								兼2
		日本社会と文化	1②③	2			1					
		小計(3科目)		6	0	0	1	**1**	**1**			兼2
	基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②	2				1				
		Language and Culture	3①②	2			1					
		Religion and Culture	**3①④**	2				**2**	**1**			
		小計(3科目)		6	0	0	1	**2**	**1**			**0**
	発展科目 比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1					
		Asian Society and Culture	3①③		2							**兼2**
		European Society and Culture	3①③		2							兼1
		Christianity and Culture	**2③④**		2				**1**			
		Islam and Culture	3②④		2			1				
		Buddhism and Culture	**2②④**		2			1				
		Hinduism and Culture	3②④		2							兼1
		American Society and Culture	**3②③**		2							兼1
		African Society and Culture	3②④		2							兼1
		Field Research Practice	3②④		2							兼1
		Ethnic Minorities and Their Cultures	**3①③**		2							兼1
		Art and Culture	**3①③**		2							兼1
		Gender and Contemporary Society	**3①③**		2							兼1
		Japanese Folk Culture	**3①③**		2		1					
		Contemporary Japanese Culture	**2①③**		2		1					
		Noto Field Work	3③		2							兼1
		Globalization and Local Culture	**3②④**		2							兼1
		Thought and Culture	**3③④**		2				**1**			**兼0**
		Food and Culture	**3②④**		2							兼1
		Clothing and Culture	**3②④**		2							兼1
		Housing and Culture	**3②④**		2							兼1
		金沢文化演習	4①		2							兼1
	発展科目 観光学系	Tourism Studies	**2④**		2		1					
		Hospitality	**3③**		2			**0**				**兼1**
		Leisure Studies	**3④**		2							兼1
		Tourism Practice	3②		1							兼1
		Tourism Culture Practice	3②		2							兼1
		Tourism Industry	**3①**		2		**1**	**0**				
		Tourist Destinations and History	3③		2							兼1
		Hospitality Practice	3③		2							兼1
		Culture and Society in Tourism	**3②**		2		**1**					**兼0**
		Tourism Policy	**3②**		2		1					
		Tourism and Regional Studies	3④		2							兼1
		Tourism Management	3④		2		**1**	**0**				
		Tourism Information	**3③**		2		**1**	**0**				
		International Development	4①		2							兼1
	発展科目 英語学系	English Linguistics	2②3②		2		1					
		Practical English Grammar	**2②④**		2		1					
		Interpretation Practice Ⅰ	2②3②		2							兼1
		Phonetics	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Translation Practice Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Interpretation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Translation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Practice in English Linguistics	2④3④		2		1					
		Tourism English Ⅰ	3①		2		**1**	**0**				
		English Teaching Methodology Ⅰ	3①		2		2					
		Tourism English Ⅱ	3②		2		**1**	**0**				
		English Teaching Methodology Ⅱ	3②		2		2					
		English Teaching Methodology Ⅲ	3③		2		2					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目 英語学系	English Teaching Methodology Ⅳ	3④		2		2					
		Cross-cultural Understanding	3④		2		1					
		小計(53科目)		0	105	0	6	4	0	0	0	兼15
	アカデミックイングリッシュ	Global Issues	2②3①②		2							兼3
		Debate	2③3②③		2			1				
		Academic Writing	3③		2		1					
		Thesis Writing	3④4①②③		2		1					
		小計(4科目)		0	8	0	1	1	0	0	0	兼3
	ゼミナール	Major Study Seminar Ⅰ	3①②③	3			4					
		Major Study Seminar Ⅱ	4①②③	3			4					
		Graduation Thesis	4④	2			4					
		小計(3科目)		8	0	0	4	6	0	0	0	0
		専門科目合計(66科目)		20	113	0	6	6	0	0	0	兼15
教職科目		教職入門(中等)	1③			2						兼1
		教育学概論(中等)	2①			2						兼1
		障害者教育	2②			2						兼1
		教育心理学(中等)	2③			2						兼1
		生徒・進路指導論(中等)	2③			2						兼1
		道徳教育の理論と方法(中等)	2④			2						兼1
		教育相談の理論と方法(中等)	2④			2						兼1
		教育社会学(中等)	3①			2						兼1
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)	3①			2						兼1
		特別活動の理論と方法(中等)	3①			2						兼1
		教育課程論(中等)	3②			2						兼1
		教育方法論(中等)	3②			2						兼1
		中等教育実習・事前事後の指導	3③4①			2						兼1
		中等教育実習Ⅰ	3③			2						兼1
		中等教育実習Ⅱ	3③4①			2						兼1
		教職実践演習C(中・高)	4③			2						兼1
		小計(16科目)		0	0	32	0	0	0	0	0	兼8
合計(133科目)				22	213	32	6	6	0	0	0	兼43

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目 英語学系	English Teaching Methodology Ⅳ	3④		2		2					
		Cross-cultural Understanding	3④		2		1					
		小計(53科目)		0	105	0	**7**	**4**	**1**	0	0	兼15
	アカデミックイングリッシュ	Global Issues	2②3①②		2				**1**			**兼1**
		Debate	2③3②③		2			1				
		Academic Writing	**2①③④**		2		1					**兼1**
		Thesis Writing	**3③④**		2		1					
		小計(4科目)		0	8	0	1	1	**1**	0	0	**兼2**
	ゼミナール	Major Study Seminar Ⅰ	3①②③	3			**3**	**3**	**0**			
		Major Study Seminar Ⅱ	4①②③	3			**4**	**2**	**0**			
		Graduation Thesis	4④	2			**4**	**2**	**0**			
		小計(3科目)		8	0	0	**5**	**4**	**0**	0	0	0
		専門科目合計(66科目)		20	113	0	**7**	**4**	**1**	0	0	**兼16**
教職科目		教職入門(中等)	1③			**2**						兼1
		教育学概論(中等)	**2④**			**2**						**兼1**
		障害者教育	2②			**2**						兼1
		教育心理学(中等)	**2④後**			**2**						**兼2**
		生徒・進路指導論(中等)	**2②前**			**2**						**兼2**
		道徳教育の理論と方法(中等)	**2①②**			**2**						**兼1**
		教育相談の理論と方法(中等)	**2後**			**2**						兼1
		教育社会学(中等)	**3後**			**2**						兼1
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)	**2前**			**2**						**兼1**
		特別活動の理論と方法(中等)	**3前**			**2**						**兼1**
		教育課程論(中等)	**3前**			**2**						**兼1**
		教育方法論(中等)	**3前**			**2**						**兼1**
		中等教育実習・事前事後の指導	**3前**			**2**						兼1
		中等教育実習Ⅰ	**3前**			**2**						兼1
		中等教育実習Ⅱ	**3前**			**2**						兼1
		教職実践演習C(中・高)	**4後**			**2**	**1**					兼1
		小計(16科目)		0	0	**32**	**1**	0	0	0	0	**兼9**
合計(133科目)				22	213	**32**	**7**	**4**	**1**	0	0	**兼51**

卒業要件及び履修方法
≪卒業要件≫ 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1)「教養科目」必修2単位を含め42単位以上履修すること。 ①「ゼミナール」2単位必修 ②「英語系」の選択必修科目から4科目8単位以上を履修 【選択必修科目(8科目)】 ・「Conversation SkillsⅢ」　・「Conversation SkillsⅣ」 ・「Phrase and Expression TrainingⅢ」・「Phrase and Expression TrainingⅣ」 ・「Reading SkillsⅢ」　・「Reading SkillsⅣ」 ・「Writing SkillsⅢ」　・「Writing SkillsⅣ」 ③「人文系」「社会系」「自然系」「スポーツ系」から32単位以上を履修 (2)「専門科目」必修20単位を含め56単位以上履修すること。 ①「基礎科目」6単位必修 ②「基幹科目」6単位必修 ③「発展科目」の「比較文化学系」「観光学系」「英語学系」より一つを選択し 24単位以上を含め、「発展科目」全体で32単位以上を履修 ④「アカデミックイングリッシュ」から2科目4単位以上を履修 ⑤「ゼミナール」8単位必修 (3)「教養科目」「専門科目」から26単位以上を履修すること。 (4)「教職科目」は、卒業要件単位数に含めない。 ≪履修登録の上限≫ 履修科目の登録の上限:40単位(年間) ※教職科目は、履修上限単位に参入しない。 ≪履修方法≫ ・「教養科目」の「英語系」の20科目は、「Conversation Skills」「Phrase and Expression Training」「International Testing」「Reading Skills」「Writing Skills」の5科目を1グループとし、ⅠからⅣを4つのクラスにグレード別に編成する、5科目のⅠを英語力が最も低いクラス、Ⅳを英語力が最も高いクラスとし、グレードⅠ・グレードⅡ・グレードⅢ・グレードⅣとする。 クラス編成は、入学前に実施する英検IBAのテストの点数で決定する。 (点数基準)グレードⅠ:470点～509点　グレードⅡ:510点～569点 グレードⅢ:570点～619点　グレードⅣ:620点～800点 ・「教養科目」のうち、英語表記している「英語系」の全科目と「人文系」「社会系」科目のうち「日本語名／英語名」で表記している科目は、英語で授業を行う。 (「日本語名／英語名」併記の科目は、1年次配当科目は日本語、2年次配当科目は英語で授業を行う。) ・「専門科目」の授業は、「基礎科目」を除き、原則英語で行う。ただし、「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」「金沢文化演習」と「発展科目」「英語学系」の「English Teaching MethodologyⅠ」「English Teaching MethodologyⅡ」「English Teaching MethodologyⅢ」「English Teaching MethodologyⅣ」の科目は、日本語で授業を行う。 ・「専門科目」の授業は、原則英語で行うため、2年次終了までにIELTS6.0点(又はTOEFLiBT80点、TOEIC730点)レベルを目標とする。 ・「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」及び「金沢文化演習」の履修には、段階的に「教養科目」の「社会系」「社会調査論」を履修後、「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」「Field Research Practice」の履修が必要であり、それぞれが履修要件科目となる。

卒業要件及び履修方法
≪卒業要件≫ 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1)「教養科目」必修2単位を含め42単位以上履修すること。 ①「ゼミナール」2単位必修 ②「英語系」の選択必修科目から4科目8単位以上を履修 【選択必修科目(8科目)】 ・「Conversation SkillsⅢ」　・「Conversation SkillsⅣ」 ・「Phrase and Expression TrainingⅢ」・「Phrase and Expression TrainingⅣ」 ・「Reading SkillsⅢ」　・「Reading SkillsⅣ」 ・「Writing SkillsⅢ」　・「Writing SkillsⅣ」 ③「人文系」「社会系」「自然系」「スポーツ系」から32単位以上を履修 (2)「専門科目」必修20単位を含め56単位以上履修すること。 ①「基礎科目」6単位必修 ②「基幹科目」6単位必修 ③「発展科目」の「比較文化学系」「観光学系」「英語学系」より一つを選択し 24単位以上を含め、「発展科目」全体で32単位以上を履修 ④「アカデミックイングリッシュ」から2科目4単位以上を履修 ⑤「ゼミナール」8単位必修 (3)「教養科目」「専門科目」から26単位以上を履修すること。 (4)「教職科目」は、卒業要件単位数に含めない。 ≪履修登録の上限≫ 履修科目の登録の上限:**44**単位(年間) ※教職科目は、履修上限単位に参入しない。 ≪履修方法≫ ・「教養科目」の「英語系」の20科目は、「Conversation Skills」「Phrase and Expression Training」「International Testing」「Reading Skills」「Writing Skills」の5科目を1グループとし、ⅠからⅣを4つのクラスにグレード別に編成する、5科目のⅠを英語力が最も低いクラス、Ⅳを英語力が最も高いクラスとし、グレードⅠ・グレードⅡ・グレードⅢ・グレードⅣとする。 クラス編成は、入学前に実施する英検IBAのテストの点数で決定する。 (点数基準)グレードⅠ:470点～509点　グレードⅡ:510点～569点 グレードⅢ:570点～619点　グレードⅣ:620点～800点 ・「教養科目」のうち、英語表記している「英語系」の全科目と「人文系」「社会系」科目のうち「日本語名／英語名」で表記している科目は、英語で授業を行う。 (「日本語名／英語名」併記の科目は、1年次配当科目は日本語、2年次配当科目は英語で授業を行う。) ・「専門科目」の授業は、「基礎科目」を除き、原則英語で行う。ただし、「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」「金沢文化演習」と「発展科目」「英語学系」の「English Teaching MethodologyⅠ」「English Teaching MethodologyⅡ」「English Teaching MethodologyⅢ」「English Teaching MethodologyⅣ」の科目は、日本語で授業を行う。 ・「専門科目」の授業は、原則英語で行うため、2年次終了までにIELTS6.0点(又はTOEFLiBT80点、TOEIC730点)レベルを目標とする。 ・「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」及び「金沢文化演習」の履修には、段階的に「教養科目」の「社会系」「社会調査論」を履修後、「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」「Field Research Practice」の履修が必要であり、それぞれが履修要件科目となる。

【平成２８年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	ゼミナール	基礎ゼミナール	1前	2			1	1				兼2
	英語系	Conversation Skills Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Phrase and Expression Training Ⅰ	1①②③④		2		1					
		International Testing Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅰ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅰ	1①②③④		2		1					
		Conversation Skills Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Phrase and Expression Training Ⅱ	1①②③④		2		1	~~1~~				
		International Testing Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅱ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅱ	1①②③④		2		1					
		Conversation Skills Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		Phrase and Expression Training Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		International Testing Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		Reading Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼1
		Writing Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼1
		Conversation Skills Ⅳ	1②③④		2							兼1
		Phrase and Expression Training Ⅳ	1②③④		2							兼1
		International Testing Ⅳ	1②③④		2							兼1
		Reading Skills Ⅳ	1②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅳ	1②③④		2							兼1
	人文系	哲学/Philosophy	1①2②		2							兼1
		英米文学/English and American Literature	1①2④		2							兼1
		宗教学/Religious Studies	1①2④		2			3				兼3
		文化人類学/Cultural Anthropology	1①2④		2							兼3
		人文地理学/Human Geography	1①2④		2							兼1
		異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③		2		1					
		日本文学	1②④		2							兼2
		歴史学	1②④		2							兼2
		心理学	1②④		2							兼1
		論理学/Logic	1②2③		2							兼1
		倫理学/Ethics	1③2④		2							兼1
	社会系	経済学/Economics	1①2③		2							兼1
		日本国憲法	1①④		2							兼1
		社会調査論	1①③		2							兼1
		観光論入門/Tourism	1②2④		2							兼1
		法学	1②		2							兼1
		政治学	1③		2							兼1
		経営学	1③		2							兼1
		社会学	1④		2							兼1
		コミュニケーション概論	1④		2							兼1
	自然系	基礎数学	1①		2							兼1
		情報リテラシー	1①③		2							兼1
		情報学	1②④		2							兼1
		統計学	1③		2							兼2
		自然科学概論	1③		2							兼1
		環境学	1④		2							兼1
		自然地理学	1②		2							兼1
	スポーツ系	健康科学演習	1②		2							兼1
		スポーツ科学演習	1③		2							兼1
		健康・スポーツ科学概論	1④		2							兼1
		教養科目合計（51科目）		2	100	0	5	3	0	0	0	兼27

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	ゼミナール	基礎ゼミナール	1①②③	2			1	2	1			兼4
	英語系	Conversation Skills Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Phrase and Expression Training Ⅰ	1①②③④		2		1					
		International Testing Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅰ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅰ	1①②③④		2		1					兼1
		Conversation Skills Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Phrase and Expression Training Ⅱ	1①②③④		2		1	1				
		International Testing Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅱ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅱ	1①②③④		2		1					兼1
		Conversation Skills Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		Phrase and Expression Training Ⅲ	1①②③④		2							兼1
		International Testing Ⅲ	1①②③④		2			1				兼0
		Reading Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼1
		Writing Skills Ⅲ	1①②③④		2		1					兼2
		Conversation Skills Ⅳ	1②③④		2							兼1
		Phrase and Expression Training Ⅳ	1②③④		2							兼1
		International Testing Ⅳ	1②③④		2			1				兼0
		Reading Skills Ⅳ	1②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅳ	1②③④		2							兼2
	人文系	哲学/Philosophy	1①2②		2							兼1
		英米文学/English and American Literature	1①2④		2							兼1
		宗教学/Religious Studies	1①③2④		2			2	1			兼3
		文化人類学/Cultural Anthropology	1①④2④		2							兼3
		人文地理学/Human Geography	1①2④		2							兼1
		異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③		2		1					
		日本文学	1①④		2							兼2
		歴史学	1②③④		2							兼2
		心理学	1②④		2							兼1
		論理学/Logic	1②2③		2							兼1
		倫理学/Ethics	1③2④		2							兼1
	社会系	経済学/Economics	1①2③		2							兼1
		日本国憲法	1①④		2							兼1
		社会調査論	1①③		2							兼1
		観光論入門/Tourism	1②2④		2							兼1
		法学	1②		2							兼1
		政治学	1②		2							兼1
		経営学	1③		2							兼1
		社会学	1④		2							兼1
		コミュニケーション概論	1④		2							兼1
	自然系	基礎数学	1①②		2							兼1
		情報リテラシー	1①③		2							兼1
		情報学	夏集中、春集中		2							兼1
		統計学	1③		2							兼2
		自然科学概論	1③		2							兼1
		環境学	1④		2							兼1
		自然地理学	1②		2							兼1
	スポーツ系	健康科学演習	1②		2							兼1
		スポーツ科学演習	1③		2							兼1
		健康・スポーツ科学概論	1④		2							兼1
		教養科目合計（51科目）		2	100	0	5	4	1	0	0	兼31

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	基礎科目	比較文化	1①②	2			1	2				
		ワールドトピックス	1②③	2								兼2
		日本社会と文化	1②③	2			1					
		小計(3科目)		6	0	0	2	2	0	0	0	兼2
	基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②	2				1				
		Language and Culture	3①②	2			1					
		Religion and Culture	3①②	2				3				
		小計(3科目)		6	0	0	1	4	0	0	0	0
	発展科目 比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1					
		Asian Society and Culture	3①③		2							兼1
		European Society and Culture	3①③		2							兼1
		Christianity and Culture	3②④		2			1				
		Islam and Culture	3②④		2			1				
		Buddhism and Culture	3②④		2			1				
		Hinduism and Culture	3②④		2							兼1
		American Society and Culture	3②④		2							兼1
		African Society and Culture	3②④		2							兼1
		Field Research Practice	3②④		2							兼1
		Ethnic Minorities and Their Cultures	3③4①		2							兼1
		Art and Culture	3③4①		2							兼1
		Gender and Contemporary Society	3③4①		2							兼1
		Japanese Folk Culture	3③4①		2		1					
		Contemporary Japanese Culture	3③4①		2		1					
		Noto Field Work	3③		2							兼1
		Globalization and Local Culture	3④4②		2							兼1
		Thought and Culture	3④4②		2							兼1
		Food and Culture	3④4②		2							兼1
		Clothing and Culture	3④4②		2							兼1
		Housing and Culture	3④4②		2							兼1
		金沢文化演習	4①		2							兼1
	発展科目 観光学系	Tourism Studies	3①		2		1					
		Hospitality	3①		2			1				
		Leisure Studies	3②		2							兼1
		Tourism Practice	3②		1							兼1
		Tourism Culture Practice	3②		2							兼1
		Tourism Industry	3③		2			1				
		Tourist Destinations and History	3③		2							兼1
		Hospitality Practice	3③		2							兼1
		Culture and Society in Tourism	3④		2							兼1
		Tourism Policy	3④		2		1					
		Tourism and Regional Studies	3④		2							兼1
		Tourism Management	3④		2			1				
		Tourism Information	4①		2			1				
		International Development	4①		2							兼1
	発展科目 英語学系	English Linguistics	2②3②		2		1					
		Practical English Grammar	2②3②		2		1					
		Interpretation Practice Ⅰ	2②3②		2							兼1
		Phonetics	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Translation Practice Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Interpretation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Translation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Practice in English Linguistics	2④3④		2		1					
		Tourism English Ⅰ	3①		2			1				
		English Teaching Methodology Ⅰ	3①		2		2					
		Tourism English Ⅱ	3②		2			1				
		English Teaching Methodology Ⅱ	3②		2		2					
		English Teaching Methodology Ⅲ	3③		2		2					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	基礎科目	比較文化	1①②	2			1	1	1			
		ワールドトピックス	1②③	2								兼2
		日本社会と文化	1②③	2			1					
		小計(3科目)		6	0	0	1	1	1	0	0	兼2
	基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②	2				1				
		Language and Culture	3①②	2			1					
		Religion and Culture	3①②	2				2	1			
		小計(3科目)		6	0	0	1	2	1	0	0	0
	発展科目 比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1					
		Asian Society and Culture	3①③		2							兼1
		European Society and Culture	3①③		2							兼1
		Christianity and Culture	3②④		2			0	1			
		Islam and Culture	3②④		2			1				
		Buddhism and Culture	3②④		2			1				
		Hinduism and Culture	3②④		2							兼1
		American Society and Culture	3②④		2							兼1
		African Society and Culture	3②④		2							兼1
		Field Research Practice	3②④		2							兼1
		Ethnic Minorities and Their Cultures	3③4①		2							兼1
		Art and Culture	3③4①		2							兼1
		Gender and Contemporary Society	3③4①		2							兼1
		Japanese Folk Culture	3③4①		2		1					
		Contemporary Japanese Culture	3③4①		2		1					
		Noto Field Work	3③		2							兼1
		Globalization and Local Culture	3④4②		2							兼1
		Thought and Culture	3④4②		2				1			兼0
		Food and Culture	3④4②		2							兼1
		Clothing and Culture	3④4②		2							兼1
		Housing and Culture	3④4②		2							兼1
		金沢文化演習	4①		2							兼1
	発展科目 観光学系	Tourism Studies	3①		2		1					
		Hospitality	3①		2			1				
		Leisure Studies	3②		2							兼1
		Tourism Practice	3②		1							兼1
		Tourism Culture Practice	3②		2							兼1
		Tourism Industry	3③		2			1				
		Tourist Destinations and History	3③		2							兼1
		Hospitality Practice	3③		2							兼1
		Culture and Society in Tourism	3④		2							兼1
		Tourism Policy	3④		2		1					
		Tourism and Regional Studies	3④		2							兼1
		Tourism Management	3④		2			1				
		Tourism Information	4①		2			1				
		International Development	4①		2							兼1
	発展科目 英語学系	English Linguistics	2②3②		2		1					
		Practical English Grammar	2②3②		2		1					
		Interpretation Practice Ⅰ	2②3②		2							兼1
		Phonetics	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Translation Practice Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Interpretation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Translation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Practice in English Linguistics	2④3④		2		1					
		Tourism English Ⅰ	3①		2			1				
		English Teaching Methodology Ⅰ	3①		2		2					
		Tourism English Ⅱ	3②		2			1				
		English Teaching Methodology Ⅱ	3②		2		2					
		English Teaching Methodology Ⅲ	3③		2		2					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目 英語学系	English Teaching MethodologyⅣ	3④		2		2					
		Cross-cultural Understanding	3④		2		1					
		小計(53科目)		0	105	0	6	4	0	0	0	兼15
	アカデミックイングリッシュ	Global Issues	2②3①②		2							兼3
		Debate	2③3②③		2			1				
		Academic Writing	3③		2		1					
		Thesis Writing	3④4①②③		2		1					
		小計(4科目)		0	8	0	1	1	0	0	0	兼3
	ゼミナール	Major Study Seminar Ⅰ	3①②③	3			4					
		Major Study Seminar Ⅱ	4①②③	3			4					
		Graduation Thesis	4④	2			4					
		小計(3科目)		8	0	0	4	6	0	0	0	0
		専門科目合計(66科目)		20	113	0	6	6	0	0	0	兼15
教職科目		教職入門(中等)	1③			2						兼1
		教育学概論(中等)	2①			2						兼1
		障害者教育	2②			2						兼1
		教育心理学(中等)	2③			2						兼3
		生徒・進路指導論(中等)	2③			2						兼1
		道徳教育の理論と方法(中等)	2④			2						兼2
		教育相談の理論と方法(中等)	2④			2						兼1
		教育社会学(中等)	3①			2						兼1
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)	3①			2						兼1
		特別活動の理論と方法(中等)	3①			2						兼2
		教育課程論(中等)	3②			2						兼1
		教育方法論(中等)	3②			2						兼1
		中等教育実習・事前事後の指導	3③4①			2						兼1
		中等教育実習Ⅰ	3③			2						兼1
		中等教育実習Ⅱ	3③4①			2						兼1
		教職実践演習C(中・高)	4③			2	1					兼1
		小計(16科目)		0	0	32	1	0	0	0	0	兼8
合計(133科目)				22	213	32	6	6	0	0	0	兼43

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目 英語学系	English Teaching MethodologyⅣ	3④		2		2					
		Cross-cultural Understanding	3④		2		1					
		小計(53科目)		0	105	0	6	3	1	0	0	兼15
	アカデミックイングリッシュ	Global Issues	2②3①②		2				1			兼2
		Debate	2③3②③		2			1				
		Academic Writing	3③		2		1					
		Thesis Writing	3④4①②③		2		1					
		小計(4科目)		0	8	0	1	1	1	0	0	兼2
	ゼミナール	Major Study Seminar Ⅰ	3①②③	3			4	5	1			
		Major Study Seminar Ⅱ	4①②③	3			4	5	1			
		Graduation Thesis	4④	2			4	5	1			
		小計(3科目)		8	0	0	4	5	1	0	0	0
		専門科目合計(66科目)		20	113	0	4	5	1	0	0	兼15
教職科目		教職入門(中等)	1③			2						兼1
		教育学概論(中等)	2③			2						兼1
		障害者教育	2②			2						兼1
		教育心理学(中等)	2④			2						兼3
		生徒・進路指導論(中等)	2③			2						兼1
		道徳教育の理論と方法(中等)	2③			2						兼2
		教育相談の理論と方法(中等)	2④			2						兼1
		教育社会学(中等)	3①			2						兼1
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)	3①			2						兼1
		特別活動の理論と方法(中等)	3①			2						兼2
		教育課程論(中等)	3②			2						兼1
		教育方法論(中等)	3②			2						兼1
		中等教育実習・事前事後の指導	3③4①			2						兼1
		中等教育実習Ⅰ	3③			2						兼1
		中等教育実習Ⅱ	3③4①			2						兼1
		教職実践演習C(中・高)	4③			2	1					兼1
		小計(16科目)		0	0	32	1	0	0	0	0	兼12
合計(133科目)				22	213	32	6	5	1	0	0	兼47

卒業要件及び履修方法
≪卒業要件≫ 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1)「教養科目」必修2単位を含め42単位以上履修すること。 ①「ゼミナール」2単位必修 ②「英語系」の選択必修科目から4科目8単位以上を履修 【選択必修科目(8科目)】 ・「Conversation SkillsⅢ」　・「Conversation SkillsⅣ」 ・「Phrase and Expression TrainingⅢ」・「Phrase and Expression TrainingⅣ」 ・「Reading SkillsⅢ」　・「Reading SkillsⅣ」 ・「Writing SkillsⅢ」　・「Writing SkillsⅣ」 ③「人文系」「社会系」「自然系」「スポーツ系」から32単位以上を履修 (2)「専門科目」必修20単位を含め56単位以上履修すること。 ①「基礎科目」6単位必修 ②「基幹科目」6単位必修 ③「発展科目」の「比較文化学系」「観光学系」「英語学系」より一つを選択し 24単位以上を含め、「発展科目」全体で32単位以上を履修 ④「アカデミックイングリッシュ」から2科目4単位以上を履修 ⑤「ゼミナール」8単位必修 (3)「教養科目」「専門科目」から26単位以上を履修すること。 (4)「教職科目」は、卒業要件単位数に含めない。 ≪履修登録の上限≫ 履修科目の登録の上限:40単位(年間) ※教職科目は、履修上限単位に参入しない。 ≪履修方法≫ ・「教養科目」の「英語系」の20科目は、「Conversation Skills」「Phrase and Expression Training」「International Testing」「Reading Skills」「Writing Skills」の5科目を1グループとし、ⅠからⅣを4つのクラスにグレード別に編成する、5科目のⅠを英語力が最も低いクラス、Ⅳを英語力が最も高いクラスとし、グレードⅠ・グレードⅡ・グレードⅢ・グレードⅣとする。 クラス編成は、入学前に実施する英検IBAのテストの点数で決定する。 (点数基準)グレードⅠ:470点～509点　グレードⅡ:510点～569点 グレードⅢ:570点～619点　グレードⅣ:620点～800点 ・「教養科目」のうち、英語表記している「英語系」の全科目と「人文系」「社会系」科目のうち「日本語名／英語名」で表記している科目は、英語で授業を行う。 (「日本語名／英語名」併記の科目は、1年次配当科目は日本語、2年次配当科目は英語で授業を行う。) ・「専門科目」の授業は、「基礎科目」を除き、原則英語で行う。ただし、「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」「金沢文化演習」と「発展科目」「英語学系」の「English Teaching MethodologyⅠ」「English Teaching MethodologyⅡ」「English Teaching MethodologyⅢ」「English Teaching MethodologyⅣ」の科目は、日本語で授業を行う。 ・「専門科目」の授業は、原則英語で行うため、2年次終了までにIELTS6.0点(又はTOEFLiBT80点、TOEIC730点)レベルを目標とする。 ・「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」及び「金沢文化演習」の履修には、段階的に「教養科目」の「社会系」「社会調査論」を履修後、「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」「Field Research Practice」の履修が必要であり、それぞれが履修要件科目となる。

卒業要件及び履修方法
≪卒業要件≫ 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1)「教養科目」必修2単位を含め42単位以上履修すること。 ①「ゼミナール」2単位必修 ②「英語系」の選択必修科目から4科目8単位以上を履修 【選択必修科目(8科目)】 ・「Conversation SkillsⅢ」　・「Conversation SkillsⅣ」 ・「Phrase and Expression TrainingⅢ」・「Phrase and Expression TrainingⅣ」 ・「Reading SkillsⅢ」　・「Reading SkillsⅣ」 ・「Writing SkillsⅢ」　・「Writing SkillsⅣ」 ③「人文系」「社会系」「自然系」「スポーツ系」から32単位以上を履修 (2)「専門科目」必修20単位を含め56単位以上履修すること。 ①「基礎科目」6単位必修 ②「基幹科目」6単位必修 ③「発展科目」の「比較文化学系」「観光学系」「英語学系」より一つを選択し 24単位以上を含め、「発展科目」全体で32単位以上を履修 ④「アカデミックイングリッシュ」から2科目4単位以上を履修 ⑤「ゼミナール」8単位必修 (3)「教養科目」「専門科目」から26単位以上を履修すること。 (4)「教職科目」は、卒業要件単位数に含めない。 ≪履修登録の上限≫ 履修科目の登録の上限:40単位(年間) ※教職科目は、履修上限単位に参入しない。 ≪履修方法≫ ・「教養科目」の「英語系」の20科目は、「Conversation Skills」「Phrase and Expression Training」「International Testing」「Reading Skills」「Writing Skills」の5科目を1グループとし、ⅠからⅣを4つのクラスにグレード別に編成する、5科目のⅠを英語力が最も低いクラス、Ⅳを英語力が最も高いクラスとし、グレードⅠ・グレードⅡ・グレードⅢ・グレードⅣとする。 クラス編成は、入学前に実施する英検IBAのテストの点数で決定する。 (点数基準)グレードⅠ:470点～509点　グレードⅡ:510点～569点 グレードⅢ:570点～619点　グレードⅣ:620点～800点 ・「教養科目」のうち、英語表記している「英語系」の全科目と「人文系」「社会系」科目のうち「日本語名／英語名」で表記している科目は、英語で授業を行う。 (「日本語名／英語名」併記の科目は、1年次配当科目は日本語、2年次配当科目は英語で授業を行う。) ・「専門科目」の授業は、「基礎科目」を除き、原則英語で行う。ただし、「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」「金沢文化演習」と「発展科目」「英語学系」の「English Teaching MethodologyⅠ」「English Teaching MethodologyⅡ」「English Teaching MethodologyⅢ」「English Teaching MethodologyⅣ」の科目は、日本語で授業を行う。 ・「専門科目」の授業は、原則英語で行うため、2年次終了までにIELTS6.0点(又はTOEFLiBT80点、TOEIC730点)レベルを目標とする。 ・「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」及び「金沢文化演習」の履修には、段階的に「教養科目」の「社会系」「社会調査論」を履修後、「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」「Field Research Practice」の履修が必要であり、それぞれが履修要件科目となる。

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養科目	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール	1①②③	2			0	1	1			兼4
	英語系	Conversation Skills Ⅰ	1①②③④		2			1				兼1
		Phrase and Expression Training Ⅰ	1①②③④		2		1					
		International Testing Ⅰ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅰ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅰ	1①②③④		2		1					兼2
		Conversation Skills Ⅱ	1①②③④		2			1				兼1
		Phrase and Expression Training Ⅱ	1①②③④		2		1	1				
		International Testing Ⅱ	1①②③④		2			1				
		Reading Skills Ⅱ	1①②③④		2							兼1
		Writing Skills Ⅱ	1①②③④		2		1					兼2
		Conversation SkillsⅢ	1①②③④		2							兼2
		Phrase and Expression TrainingⅢ	1①②③④		2							兼1
		International TestingⅢ	1①②③④		2			0				兼1
		Reading SkillsⅢ	1①②③④		2		1					兼1
		Writing SkillsⅢ	1①②③④		2		1					兼2
		Conversation SkillsⅣ	1②③④		2							兼2
		Phrase and Expression TrainingⅣ	1②③④		2							兼1
		International TestingⅣ	1②③④		2			1				兼0
		Reading SkillsⅣ	1②③④		2							兼1
		Writing SkillsⅣ	1②③④		2							兼3
	人文系	哲学/Philosophy	1①2②		2							兼1
		英米文学/English and American Literature	1③2④		2							兼1
		宗教学/Religious Studies	1①2④		2			2	1			兼1
		文化人類学/Cultural Anthropology	1①2④		2							兼2
		人文地理学/Human Geography	1①2④		2							兼1
		異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②2③		2		1					
		日本文学	1①④		2							兼2
		歴史学	1②③④		2							兼2
		心理学	1②③		2							兼1
		論理学/Logic	1②2③		2							兼1
		倫理学/Ethics	1③2④		2							兼1
	社会系	経済学/Economics	1①2③		2							兼1
		日本国憲法	1①②③④		2							兼2
		社会調査論	1①③		2							兼1
		観光論入門/Tourism	1②2③		2							兼1
		法学	1①②③④		2							兼2
		政治学	1②		2							兼1
		経営学	1③		2							兼1
		社会学	1④		2							兼1
		コミュニケーション概論	1②④		2							兼1
	自然系	基礎数学	1①②③④		2							兼2
		情報リテラシー	1①③		2							兼1
		情報学	1①④		2							兼1
		統計学	1③		2							兼1
		自然科学概論	1③		2							兼1
		環境学	1④		2							兼1
		自然地理学	1②		2							兼1
	スポーツ系	健康科学演習	1②		2							兼1
		スポーツ科学演習	1③		2							兼1
		健康・スポーツ科学概論	1④		2							兼1
		教養科目合計（51科目）		2	100	0	4	4	1	0	0	兼36

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	基礎科目	比較文化	1①②	2			0	1	1			
		ワールドトピックス	1②③	2								兼2
		日本社会と文化	1②③	2			1					
		小計（3科目）		6	0	0	1	1	1	0	0	兼2
	基幹科目	Studies on Multicultural Symbiosis	3①②	2				1				
		Language and Culture	3①②	2			1					
		Religion and Culture	3①②	2				2	1			
		小計（3科目）		6	0	0	1	2	1	0	0	0
	発展科目 比較文化学系	Religion and Ecology	3①③		2		1					
		Asian Society and Culture	3①③		2							兼2
		European Society and Culture	3①③		2							兼1
		Christianity and Culture	2②④		2			0	1			
		Islam and Culture	3②④		2			1				
		Buddhism and Culture	2②④		2			1				
		Hinduism and Culture	3②④		2							兼1
		American Society and Culture	3②④		2							兼1
		African Society and Culture	3②④		2							兼1
		Field Research Practice	3②④		2							兼1
		Ethnic Minorities and Their Cultures	3③4①		2							兼1
		Art and Culture	3③4①		2							兼1
		Gender and Contemporary Society	3③4①		2							兼1
		Japanese Folk Culture	3③4①		2		1					
		Contemporary Japanese Culture	2①③		2		1					
		Noto Field Work	3③		2							兼1
		Globalization and Local Culture	3④4②		2							兼1
		Thought and Culture	3④4②		2				1			兼0
		Food and Culture	3④4②		2							兼1
		Clothing and Culture	3④4②		2							兼1
		Housing and Culture	3④4②		2							兼1
		金沢文化演習	4①		2							兼1
	発展科目 観光学系	Tourism Studies	2④3①		2		1					
		Hospitality	3①		2			0				兼1
		Leisure Studies	3②		2							兼1
		Tourism Practice	3②		1							兼1
		Tourism Culture Practice	3②		2							兼1
		Tourism Industry	3③		2		1	0				
		Tourist Destinations and History	3③		2							兼1
		Hospitality Practice	3③		2							兼1
		Culture and Society in Tourism	3④		2		1					兼0
		Tourism Policy	3②		2		1					
		Tourism and Regional Studies	3④		2							兼1
		Tourism Management	3④		2		1	0				
		Tourism Information	3③		2		1	0				
		International Development	4①		2							兼1
	英語学系	English Linguistics	2②3②		2		1					
		Practical English Grammar	2②3②		2		1					
		Interpretation Practice Ⅰ	2②3②		2							兼1
		Phonetics	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Translation Practice Ⅰ	2③3③		2							兼1
		Business English Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Interpretation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Translation Practice Ⅱ	2④3④		2							兼1
		Practice in English Linguistics	2④3④		2		1					
		Tourism English Ⅰ	3①		2		1	0				
		English Teaching Methodology Ⅰ	3①		2		2					
		Tourism English Ⅱ	3②		2		1	0				
		English Teaching Methodology Ⅱ	3②		2		2					
		English Teaching Methodology Ⅲ	3③		2		2					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門科目	発展科目 英語学系	English Teaching Methodology Ⅳ	3④		2		2					
		Cross-cultural Understanding	3④		2		1					
		小計(53科目)		0	105	0	7	2	1	0	0	兼15
	アカデミックイングリッシュ	Global Issues	2②3①②		2				1			兼1
		Debate	2③3②③		2			1				
		Academic Writing	2④		2		1					
		Thesis Writing	3④4①②③		2		1					
		小計(4科目)		0	8	0	1	1	1	0	0	兼1
	ゼミナール	Major Study Seminar Ⅰ	3①②③	3			4	2	0			
		Major Study Seminar Ⅱ	4①②③	3			5	4	1			
		Graduation Thesis	4④	2			5	4	1			
		小計(3科目)		8	0	0	5	4	1	0	0	0
		専門科目合計(66科目)		20	113	0	7	2	1	0	0	兼15
教職科目		教職入門(中等)	1③			2						兼1
		教育学概論(中等)	2③			2						兼2
		障害者教育	2②			2						兼1
		教育心理学(中等)	2④			2						兼3
		生徒・進路指導論(中等)	2③			2						兼2
		道徳教育の理論と方法(中等)	2③			2						兼1
		教育相談の理論と方法(中等)	2④			2						兼1
		教育社会学(中等)	3①			2						兼1
		介護等体験(事前・事後の指導を含む)	3①			2						兼2
		特別活動の理論と方法(中等)	3①			2						兼2
		教育課程論(中等)	3②			2						兼2
		教育方法論(中等)	3②			2						兼2
		中等教育実習・事前事後の指導	3③4①			2						兼1
		中等教育実習Ⅰ	3③			2						兼1
		中等教育実習Ⅱ	3③4①			2						兼1
		教職実践演習C(中・高)	4③			2	1					兼1
		小計(16科目)		0	0	32	1	0	0	0	0	兼12
合計(133科目)				22	213	32	7	2	1	0	0	兼53

卒業要件及び履修方法
≪卒業要件≫ 卒業に必要な単位数は、124単位以上とする。なお、科目区分ごとに以下の要件を付す。 (1)「教養科目」必修2単位を含め42単位以上履修すること。 ①「ゼミナール」2単位必修 ②「英語系」の選択必修科目から4科目8単位以上を履修 【選択必修科目(8科目)】 ・「Conversation SkillsⅢ」　・「Conversation SkillsⅣ」 ・「Phrase and Expression TrainingⅢ」・「Phrase and Expression TrainingⅣ」 ・「Reading SkillsⅢ」　・「Reading SkillsⅣ」 ・「Writing SkillsⅢ」　・「Writing SkillsⅣ」 ③「人文系」「社会系」「自然系」「スポーツ系」から32単位以上を履修 (2)「専門科目」必修20単位を含め56単位以上履修すること。 ①「基礎科目」6単位必修 ②「基幹科目」6単位必修 ③「発展科目」の「比較文化学系」「観光学系」「英語学系」より一つを選択し 24単位以上を含め、「発展科目」全体で32単位以上を履修 ④「アカデミックイングリッシュ」から2科目4単位以上を履修 ⑤「ゼミナール」8単位必修 (3)「教養科目」「専門科目」から26単位以上を履修すること。 (4)「教職科目」は、卒業要件単位数に含めない。 ≪履修登録の上限≫ 履修科目の登録の上限:40単位(年間) ※教職科目は、履修上限単位に参入しない。 ≪履修方法≫ ・「教養科目」の「英語系」の20科目は、「Conversation Skills」「Phrase and Expression Training」「International Testing」「Reading Skills」「Writing Skills」の5科目を1グループとし、ⅠからⅣを4つのクラスにグレード別に編成する、5科目のⅠを英語力が最も低いクラス、Ⅳを英語力が最も高いクラスとし、グレードⅠ・グレードⅡ・グレードⅢ・グレードⅣとする。 クラス編成は、入学前に実施する英検IBAのテストの点数で決定する。 (点数基準)グレードⅠ:470点～509点　グレードⅡ:510点～569点 グレードⅢ:570点～619点　グレードⅣ:620点～800点 ・「教養科目」のうち、英語表記している「英語系」の全科目と「人文系」「社会系」科目のうち「日本語名／英語名」で表記している科目は、英語で授業を行う。 (「日本語名／英語名」併記の科目は、1年次配当科目は日本語、2年次配当科目は英語で授業を行う。) ・「専門科目」の授業は、「基礎科目」を除き、原則英語で行う。ただし、「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」「金沢文化演習」と「発展科目」「英語学系」の「English Teaching MethodologyⅠ」「English Teaching MethodologyⅡ」「English Teaching MethodologyⅢ」「English Teaching MethodologyⅣ」の科目は、日本語で授業を行う。 ・「専門科目」の授業は、原則英語で行うため、2年次終了までにIELTS6.0点(又はTOEFLiBT80点、TOEIC730点)レベルを目標とする。 ・「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」の「Noto Field Work」及び「金沢文化演習」の履修には、段階的に「教養科目」の「社会系」「社会調査論」を履修後、「専門科目」の「発展科目」「比較文化学系」「Field Research Practice」の履修が必要であり、それぞれが履修要件科目となる。

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【平成２８年度】

・履修希望者がいなかったため、「基礎ゼミナール」を５ゼミ未開講とし専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授１」へ、「兼５」から「兼２」に変更。
・履修希望者がいなかったため、「Phrase and Expression TrainingⅡ」を1クラス未開講とし専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」に変更。
・履修該当者がいなかったため、「Conversation SkillsⅣ」「Phrase and Expression TrainingⅣ」「Internatioinal TestingⅣ」「Reading SkillsⅣ」「Writing SkillsⅣ」は配当年次を「1①②③④」から「1②③④」に変更。
・時間割調整のため、「日本国憲法」の配当年次を「1①③」から「1①④」に変更。
・「統計学」をオムニバス・共同（一部）に変更。
・時間割調整のため、「自然地理学」の配当年次を「1④」から「1②」に変更。
・オムニバス方式に変更したことにより、「教育心理学（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼３」に変更。
・オムニバス方式に変更したことにより、「道徳教育の理論と方法（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・オムニバス方式に変更したことにより、「特別活動の理論と方法（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・複数体制の授業に変更したことにより、「教職実践演習Ｃ（中・高）」の専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」に変更。

【平成２９年度】

・教育内容の充実を図るため、「基礎ゼミナール」の配当期を「1前」から「1①②③」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年4月棄野萌講師就任。（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授２」に変更及び「講師０」から「講師１」に変更。
・「基礎ゼミナール」の昨年度兼担数誤表示のため「兼２」から「兼４」に修正。
・平成28年６月加藤隆宏講師就任辞退。「基礎ゼミナール」他に担当者が複数名いるため支障なし。
・平成29年４月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅠ」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・昨年度の誤表記修正のため、「Phrase and Expression TraningⅡ」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に修正。
・平成29年４月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅡ」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・横野成美准教授他大学就任のため、専任教員田中富士美准教授に担当の変更（平成29年３月教員審査提出済）のため、「International TestingⅢ」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に変更及び「兼１」から「兼０」に変更。
・平成29年４月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅢ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・横野成美准教授他大学就任のため、専任教員田中富士美准教授に担当の変更（平成29年３月教員審査提出済）のため、「International TestingⅣ」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に変更及び「兼１」から「兼０」に変更。
・平成29年４月マイケルキーナン講師追加のため「Writing SkillsⅣ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「宗教学/Religious Studies」の配当期を「1①2④」から「1①③2④」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退のため、平成29年4月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「宗教学/Religious Studies」の専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授２」及び「講師０」から「講師１」に変更。
・時間割調整のため、「文化人類学/Cultural Anthropology」の配当期を「1①2④」から「1①④2④」に変更。
・時間割調整のため、「日本文学」の配当期を「1②④」から「1①④」に変更。
・時間割調整のため、「歴史学」の配当期を「1②④」から「1②③④」に変更。
・時間割調整により、「政治学」の配当期を「1③」から「1②」に変更。
・木村春彦講師辞退のため、平成29年11月兼担教員にて「コミュニケーション概論」担当予定。
・時間割調整のため、「基礎数学」の配当期を「1①」から「1①②」に変更。
・時間割調整のため、「情報学」の配当期を「1②④」から「夏集中、春集中」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年４月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「比較文化」の専任教員等の配置を「准教授２」から「准教授１」に変更及び「講師０」から「講師１」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年４月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Religion and Culture」の専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授２」に変更及び「講師０」から「講師１」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年４月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Christianity and Culture」の専任教員等の配置を「准教授1 」から「准教授０」に変更及び「講師０」から「講師１」に変更。
・平成28年６月加藤隆宏講師就任辞退。成29年４月棄野萌講師就任（平成29年３月変更書提出済）のため、「Thoughts and Culture」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」に変更及び「兼１」から「兼０」に変更。
・平成28年６月加藤隆宏講師就任辞退。成29年４月棄野萌講師就任（平成29年３月変更書提出済）のため、「Global Issues」の専任教員等の配置を「講師０」から「講師１」に変更及び「兼３」から「兼２」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年４月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Major Study SeminarⅠ」の専任教員等の配置を「准教授６ 」から「准教授５」へ、「講師０」から「講師１」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年４月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Major Study SeminarⅡ」の専任教員等の配置を「准教授６ 」から「准教授５」へ、「講師０」から「講師１」に変更。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退。平成29年４月棄野萌講師就任（平成27年12月教員審査済み）昨年度記載漏れのため、「Graduation Thesis」の専任教員等の配置を「准教授６ 」から「准教授５」へ、「講師０」から「講師１」に変更。
・時間割調整により、「教育学概論（中等）」の配当期を「２①」から「２③」に変更。
・時間割調整により、「教育心理学（中等）」の配当期を「２③」から「２④」に変更。
・時間割調整により、「道徳教育の理論と方法（中等）」の配当期を「２④」から「２③」に変更。

【平成３０年度】

・時間割調整のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」に変更。「准教授２」を「准教授１」に変更。
・時間割調整のため、「Conversation SkillsⅠ」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「Writing SkilsⅠ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Conversation SkilsⅡ」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「Writing SkilsⅡ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Conversation SkilsⅢ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「International TestingⅢ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」に変更。
・時間割調整のため、「Conversation SkilsⅣ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Writing SkilsⅣ」の兼担数を「兼２」から「兼３」に変更。
・時間割調整のため、「英米文学/English and American Literature」の配当期を1①2④から1③2④に変更
・時間割調整のため、「宗教学/Religious Studies」の配当期を1①③2④から1①2④に変更。
・時間割調整のため、「文化人類学/Cultural Antholopology」の配当期を1①④2④から1①2④に変更。
・時間割調整のため、「文化人類学/Cultural Antholopology」の兼担数を「兼３」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「心理学」の配当期を1②④から１②③に変更。
・時間割調整のため、「日本国憲法」の配当期を1①④から1①②③④に変更。
・時間割調整のため、「日本国憲法」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「観光論入門/Tourism」の配当期を1②2④から1②2③に変更。
・時間割調整のため、「法学」の配当期を1②から1①②③④に変更。
・時間割調整のため、「法学」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「コミュニケーション概論」の配当期を1④から1②④に変更。
・時間割調整のため、「基礎数学」の配当期を1①②から1①②③④に変更。
・時間割調整のため、「基礎数学」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「情報学」の配当期を1②1④から1①④に変更。
・時間割調整のため、「統計学」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「比較文化」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」に変更。
・時間割調整のため、「Asian Society and Culture」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Christianity and Culture」の配当期を3②④から2②④に変更。
・時間割調整のため、「Christianity and Culture」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」に変更。
・時間割調整のため、「Buddhism and Culture」の配当期を3②④から2②④に変更。
・時間割調整のため、「Contemporary Japanese Culture」の配当期を3③4①から2①③に変更。
・時間割調整のため、「Tourism Studies」の配当期を3①から2④3①に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、兼担に変更。「Hospitality」の専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」及び「兼０」から「兼１」に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism Industry」の担当を捧富雄教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」及び「教授０」から「教授１」に変更。
・他大学就任で平成30年３月佐野浩祥准教授退職により、「Culture and Society in Tourism」の担当を齋藤千恵教授に変更。専任教員等の配置を「教授０」から「教授１」及び「兼１」から「兼０」に変更。
・時間割調整のため、「Tourism Policy」の配当期を3④から3②に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism Management」の担当を捧富雄教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」及び「教授０」から「教授１」に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism Information」の担当を捧富雄教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」及び「教授０」から「教授１」に変更。
・時間割調整のため、「Tourism Information」の配当期を4①から3③に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism EnglishⅠ」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」及び「教授０」から「教授１」に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Tourism EnglishⅡ」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授１」から「准教授０」及び「教授０」から「教授１」に変更。
・時間割調整により、「Global Issues」担当者にの兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「Acadimic Writing」の配当期を3③から2④に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Major Study SeminarⅠ」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授５」から「准教授４」及び「教授４」から「教授５」に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Major Study SeminarⅡ」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授５」から「准教授４」及び「教授４」から「教授５」に変更。
・岡達哉准教授就任辞退により、「Graduation Thesis」の担当を齋藤千恵教授（平成29年12月教員審査済）に変更。専任教員等の配置を「准教授５」から「准教授４」及び「教授４」から「教授５」に変更。
・時間割調整のため、「教育学概論（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「生徒・進路指導論（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「介護等体験（事前・事後の指導を含む）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「教育課程論（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「教育方法論（中等）」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。

・他大学就任で平成30年３月佐野浩祥准教授退職により、「Leisure Studies」の担当を岡達哉教授に変更。
・他大学就任で平成30年３月佐野浩祥准教授退職により、「Tourism Culture Practice」の担当を岡達哉教授に変更。
・他大学就任で平成30年３月佐野浩祥准教授退職により、「Tourist Destinations and History」の担当を岡達哉教授に変更。
・他大学就任で平成30年３月佐野浩祥准教授退職により、「Hospitality Practice」の担当を岡達哉教授に変更。

【令和元年度】

・時間割調整のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授５」を「教授４」に変更、「准教授４」を「准教授２」に変更、「講師１」から「講師０」に変更。
・時間割調整のため、「International TestingⅠ」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「Reading SkilsⅠ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Conversation SkillsⅡ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「International TestingⅡ」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「Reading SkillsⅡ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Phrase and Expression TrainingⅢ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「International TestingⅢ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Reading SkillsⅢ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Writing SkillsⅢ」の兼担数を「兼２」から「兼４」に変更。
・時間割調整のため、「Phrase and Expression TrainingⅣ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「Reading SkillsⅣ」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・時間割調整のため、「英米文学/English and American Literature」の配当期を１③２④から１①③２④に変更
・「宗教学/Religious Studies」の昨年度兼担数誤表示のため「兼０」から「兼１」に修正。
・時間割調整のため、「人文地理学/Human Geography」の配当期を１①２④から１③２④に変更
・時間割調整のため、「コミュニケーション概論」の配当期を１②④から１①②③④に変更
・時間割調整のため、「基礎数学」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「統計学」の配当期を１③から１①④に変更。
・時間割調整のため、「統計学」の兼担数を「兼１」から「兼２」に変更。
・桑野萌講師産休取得に伴う時間割調整のためオムニバス方式に変更し、「比較文化」の兼担数を「兼０」から「兼１」に修正。
・桑野萌講師産休取得に伴う時間割調整のため「Religion and Culture」の配当期を３①②から３①④に変更。
・「Christianity and Culture」の昨年度兼担数誤表示のため「准教授１」から「准教授０」に修正。
・桑野萌講師産休取得に伴う時間割調整のため、「Christianity and Culture」の配当期を２②④から２③④に変更。
・時間割調整のため、「American Society and Culture」の配当期を３②④から３②③に変更。
・時間割調整のため、「Ethnic Minorities and Their Cultures」の配当期を３③４①から３①③に変更。
・時間割調整のため、「Art and Cultures」の配当期を３③４①から３①③に変更。
・時間割調整のため、「Gender and Contemporary Society」の配当期を３③４①から３①③に変更。
・時間割調整のため、「Japanese Folk Culture」の配当期を３③４①から３①③に変更。
・時間割調整のため、「Globalization and Local Culture」の配当期を３④４②から３②④に変更。
・桑野萌講師産休取得に伴う時間割調整のため、「Thought and Culture」の配当期を３④４②から３③④に変更。
・時間割調整のため、「Food and Culture」の配当期を３④４②から３②④に変更。
・時間割調整のため、「Clothing and Culture」の配当期を３④４②から３②④に変更。
・時間割調整のため、「Housing and Culture」の配当期を３④４②から３②④に変更。
・時間割調整のため、「Tourism Studies」の配当期を２④３①から２④に変更。
・時間割調整のため、「Hospitality」の配当期を３①から３③に変更。
・時間割調整のため、「Leisure Studiesy」の配当期を３②から３④に変更。
・時間割調整のため、「Tourism Industry」の配当期を３③から３①に変更。
・時間割調整のため、「Culture and Society in Tourism」の配当期を３④から３②に変更。
・時間割調整のため、「Practical English Grammar」の配当期を２②３②から２②④に変更。
・時間割調整のため、「Academic Writing」の配当期を２④から２①③④に変更。
・時間割調整のため、「Academic Writing」の兼担数を「兼０」から「兼１」に変更。
・時間割調整のため、「Thesis Writing」の配当期を３④４①②③から３③④に変更。
・時間割調整のため、「Major Study SeminarⅠ」の専任教員等の配置を「教授５」から「教授３」に変更。「准教授４」から「准教授３」に変更。「講師１」から「講師０」に変更。
・時間割調整のため、「Major Study SeminarⅡ」の専任教員等の配置を「教授５」から「教授４」に変更。「准教授４」から「准教授２」に変更。「講師１」から「講師０」に変更。
・時間割調整のため、「Graduation Thesis」の専任教員等の配置を「教授５」から「教授４」に変更。「准教授４」から「准教授２」に変更。「講師１」から「講師０」に変更。
・時間割調整のため、「教育学概論（中等）」の配当期を２③から２④に変更。
・オムニバス方式を解消し、「教育学概論（中等）」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・オムニバス方式を解消し、「教育心理学（中等）」の兼担数を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「生徒・進路指導論（中等）」の配当期を２③から２②前に変更。
・教育内容の充実を図るため、「道徳教育の理論と方法（中等）」の配当期を２③から２①②前に変更。
・教育内容の充実を図るため、「教育社会学（中等）」の配当期を３①から３後に変更。
・教育内容の充実を図るため、「介護等体験（事前・事後の指導を含む）」の配当期を３①から２前に変更。
・オムニバス方式を解消し、「介護等体験（事前・事後の指導を含む）」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「特別活動の理論と方法（中等）」の配当期を３①から３前に変更。
・オムニバス方式を解消し、「特別活動の理論と方法（中等）」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「教育課程論（中等）」の配当期を３②から３前に変更。
・オムニバス方式を解消し、「教育課程論（中等）」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「教育方法論（中等）」の配当期を３②から３前に変更。
・オムニバス方式を解消し、「教育方法論（中等）」の兼担数を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容の充実を図るため、「中等教育実習・事前事後の指導」の配当期を３③４①から３前に変更。
・教育内容の充実を図るため、「中等教育実習Ⅰ」の配当期を３③から３前に変更。
・教育内容の充実を図るため、「中等教育実習Ⅱ」の配当期を３③から３前に変更。
・教育内容の充実を図るため、「教職実践演習Ｃ（中・高）」の配当期を４③から４後に変更。

（注）・ ２（１）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

				変更状況				備考
	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
科目	107 科目	16 科目	133 科目	10 科目 [0]	107 科目 [0]	16 科目 [0]	133 科目 [0]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	Economics	2	1①2③	一般	選択	隔年で英語と日本語を交互で開講となったため
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

[大学の所見]
例年、履修者が少人数（5名前後）であり、隔年開講とすることで履修者を集約させることで、履修者数増による教育的効果の向上を図るものとする。
[学生への周知方法]
非開講科目については、履修登録前に全学生に周知した。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{133} = 0.75\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1)	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期大学部(必要面積3,000㎡)と共用
	校舎敷地	-㎡	35,001.00㎡	-㎡	35,001.00㎡	
	運動場用地	-㎡	34,312.79㎡	-㎡	34,312.79㎡	【借地面積】 〔校舎敷地〕 借用面積：4,573㎡ 平成26年5月1日より 借用期間：30年
	小　　計	-㎡	69,313.79㎡	-㎡	69,313.79㎡	
校地等	その他	-㎡	9,290.15㎡ ~~6,649.15㎡~~ ~~6,599.83㎡~~	-㎡	9,290.15㎡ ~~6,649.15㎡~~ ~~6,599.83㎡~~	借用面積：1,359㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：30年 借用面積：671㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：22年 借用面積：330㎡ 平成27年1月1日より 借用期間：30年 〔運動場用地〕 徒歩10分、700m 借用面積：3,168㎡ 平成26年5月1日より 借用期間30年 借用面積：1,413㎡ 平成27年1月1日より 借用期間30年 〔その他〕 借用面積：4,111.83㎡ 平成31年4月1日より 借用期間2年 ~~平成29年4月1日より~~ ~~借用期間2年~~ ~~借用面積：4,959.83㎡~~ ~~平成27年4月1日より~~ ~~借用期間2年~~
	合　　計	-㎡	78,603.94㎡ ~~75,962.94㎡~~ ~~75,913.62㎡~~	-㎡	78,603.94㎡ ~~75,962.94㎡~~ ~~75,913.62㎡~~	借用面積：303㎡ 平成30年4月1日より 借用期間2年 ~~平成28年4月1日より~~ ~~借用期間2年~~ ~~平成26年4月1日より~~ ~~借用期間2年~~ 借用面積：1,912 平成30年8月1日より 借用期間：5年 借用面積：507㎡ 平成30年12月1日より 借用期間：5年 借地面積 計18,347.83㎡ ~~借地面積~~ ~~計15,928.83㎡~~ ~~借地面積~~ ~~計16,776.83㎡~~ 借用面積と借用期間の変更および駐車場の増加（元）

(2) 校　　舎	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	3,584.48㎡ ~~3,584.50㎡~~ (　3,584.50㎡)	23,028.36㎡ ~~23,419.50㎡~~ (　23,419.50㎡)	2,003.20㎡ (　2,003.20㎡)	28,616.04㎡ ~~29,007.20㎡~~ (　29,007.20㎡)	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
	38室	34室	7室	6室 (補助職員　1人)	ー室 (補助職員　ー人)	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	
	人文学部　国際文化学科	12	室

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	人文学部	1,468〔151〕 (1,766〔253〕)	23〔15〕 (29 〔18〕)	8〔8〕 (11〔11〕)	12 (13)	( )	( )	
	計	1,468〔151〕 (1,766〔253〕)	23〔15 (29 〔18〕)	8〔8〕 (11〔11〕)	12 (13)	( )	( )	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	
	1,912.07㎡	270	203,570	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	4,974.44㎡	星稜スポーツセンター（剣道場・STUDIO・空手道場等を含む）	テニスコート6面	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費：追加設置設備発生による変更があったため（28） 図書購入費：契約において当初見積内容に変更があったため（28） 図書費には、電子ｼﾞｬｰﾅﾙの整備費(運用ｺｽﾄ含む)を含む。
		教員１人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	5,489千円	2,367千円 ~~2,750~~千円	1,405千円	
		共同研究費等	208千円	208千円	設備購入費	60,770 ~~37,631~~ 千円	1,080千円	3,870千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,302千円	1,182千円	1,182千円	1,182千円	— 千円	— 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入

（注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・ 「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大 学 の 名 称	金沢星稜大学									備　　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
大学院									－	
経営戦略研究科	2	10	－	20	修士（経済学・経営学）	0.50	－	平成14年度	石川県金沢市御所町丑10番地1	
経済学部										
経済学科	4	270	－	1000	学士（経済）	1.10	－	昭和42年度	同上	平成30年度入学定員増（40）
経営学科	4	170	－	640	学士（経営学）	1.13	－	平成16年度	同上	平成30年度入学定員増（20）
人間科学部										
スポーツ学科	4	75	－	270	学士（人間科学）	1.14	－	平成19年度	同上	平成30年度入学定員増（15）
こども学科	4	68	－	256	学士（人間科学）	1.10	－	平成19年度	同上	平成26年度入学定員増（20） 平成30年度入学定員増（8）
人文学部										
国際文化学科	4	75	－	300	学士（人文学）	0.76	－	平成28年度	同上	

大 学 の 名 称	金沢星稜大学女子短期大学部									備　　考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定　員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所　在　地	
	年	人	年次 人	人		倍				
経営実務科	2	150	－	300	短期大学士（経営）	1.18	－	昭和54年度	同上	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜人文学部　国際文化学科＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学部長）	ｶﾜﾑﾗ　ﾖｼﾊﾙ 川村　義治 （62） ＜平成28年４月＞ 博士（外国語教育学）	Phrase and Expression Training Ⅰ Phrase and Expression Training Ⅱ English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　ﾏｰｸ　ﾌﾚﾃﾞﾘｯｸ PETERSEN MARK FREDERIC （70） ＜平成29年４月＞ Master of Arts in Modern Japanese Literature(米国)	Reading Skills Ⅲ Writing Skills Ⅲ Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ｻｻｻﾞ　ﾄﾐｵ 捧　富雄 （69） ＜平成30年４月＞ 修士（観光学）	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ﾔﾏﾀﾞ（ｲﾘﾓﾄ）ﾀｶｺ 山田（煎本）孝子 （68） ＜平成28年４月＞ 理学博士	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ﾛﾊﾞｰｿﾝ ｼﾞｪｰﾑｽ ｱｰﾙ ROBERSON JAMES EARL （60） ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology(米国)	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ｵｶﾓﾄ　ﾖｼｶｽﾞ 岡本　芳和 （42） ＜平成28年４月＞ 博士（英語学）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

【平成２８年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学部長）	ｶﾜﾑﾗ　ﾖｼﾊﾙ 川村　義治 （62） ＜平成28年４月＞ 博士（外国語教育学）	Phrase and Expression Training Ⅰ Phrase and Expression Training Ⅱ English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis **教職実践演習Ｃ（中・高）**
専	教授	ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　ﾏｰｸ　ﾌﾚﾃﾞﾘｯｸ PETERSEN MARK FREDERIC （69） ＜平成29年４月＞ Master of Arts in Modern Japanese Literature(米国)	Reading Skills Ⅲ Writing Skills Ⅲ Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ｻｻｻﾞ　ﾄﾐｵ 捧　富雄 （67） ＜平成30年４月＞ 修士（観光学）	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ﾔﾏﾀﾞ（ｲﾘﾓﾄ）ﾀｶｺ 山田（煎本）孝子 （68） ＜平成28年４月＞ 理学博士	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ﾛﾊﾞｰｿﾝ ｼﾞｪｰﾑｽ ｱｰﾙ ROBERSON JAMES EARL 60） ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology(米国)	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ｵｶﾓﾄ　ﾖｼｶｽﾞ 岡本　芳和 （42） ＜平成28年４月＞ 博士（英語学）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学部長）	ｶﾜﾑﾗ　ﾖｼﾊﾙ 川村　義治 （63） ＜平成28年４月＞ 博士（外国語教育学）	Phrase and Expression Training Ⅰ Phrase and Expression Training Ⅱ English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis **教職実践演習Ｃ（中・高）**
専	教授	ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　ﾏｰｸ　ﾌﾚﾃﾞﾘｯｸ PETERSEN MARK FREDERIC （70） ＜平成29年４月＞ Master of Arts in Modern Japanese Literature(米国)	Reading Skills Ⅲ Writing Skills Ⅲ Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ｻｻｻﾞ　ﾄﾐｵ 捧　富雄 （68） ＜平成30年４月＞ 修士（観光学）	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ﾔﾏﾀﾞ（ｲﾘﾓﾄ）ﾀｶｺ 山田（煎本）孝子 （69） ＜平成28年４月＞ 理学博士	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ﾛﾊﾞｰｿﾝ ｼﾞｪｰﾑｽ ｱｰﾙ ROBERSON JAMES EARL （61） ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology(米国)	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授	ｵｶﾓﾄ　ﾖｼｶｽﾞ 岡本　芳和 （43） ＜平成28年４月＞ 博士（英語学）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学部長）	ｶﾜﾑﾗ　ﾖｼﾊﾙ 川村　義治 （64） ＜平成28年４月＞ 博士（外国語教育学）	Phrase and Expression Training Ⅰ Phrase and Expression Training Ⅱ English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis **教職実践演習Ｃ（中・高）**
専	教授	ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　ﾏｰｸ　ﾌﾚﾃﾞﾘｯｸ PETERSEN MARK FREDERIC （71） ＜平成29年４月＞ Master of Arts in Modern Japanese Literature(米国)	Reading Skills Ⅲ Writing Skills Ⅲ Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ｻｻｻﾞ　ﾄﾐｵ 捧　富雄 （69） ＜平成30年４月＞ 修士（観光学）	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis **Tourism Industry** **Tourism Management** **Tourism Information**
専	教授	ﾔﾏﾀﾞ（ｲﾘﾓﾄ）ﾀｶｺ 山田（煎本）孝子 （70） ＜平成28年４月＞ 理学博士	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ﾛﾊﾞｰｿﾝ ｼﾞｪｰﾑｽ ｱｰﾙ ROBERSON JAMES EARL （62） ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology(米国)	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授 （学部長）	ｵｶﾓﾄ　ﾖｼｶｽﾞ 岡本　芳和 （44） ＜平成28年４月＞ 博士（英語学）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 （学部長）	ｶﾜﾑﾗ　ﾖｼﾊﾙ 川村　義治 （65） ＜平成28年４月＞ 博士（外国語教育学）	Phrase and Expression Training Ⅰ Phrase and Expression Training Ⅱ English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis **教職実践演習Ｃ（中・高）**
専	教授	ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ　ﾏｰｸ　ﾌﾚﾃﾞﾘｯｸ PETERSEN MARK FREDERIC （72） ＜平成29年４月＞ Master of Arts in Modern Japanese Literature(米国)	Reading Skills Ⅲ Writing Skills Ⅲ Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing
専	教授	ｻｻｻﾞ　ﾄﾐｵ 捧　富雄 （70） ＜平成30年４月＞ 修士（観光学）	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis **Tourism Industry** **Tourism Management** **Tourism Information**
専	教授	ﾔﾏﾀﾞ（ｲﾘﾓﾄ）ﾀｶｺ 山田（煎本）孝子 （71） ＜平成28年４月＞ 理学博士	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology
専	教授	ﾛﾊﾞｰｿﾝ ｼﾞｪｰﾑｽ ｱｰﾙ ROBERSON JAMES EARL （63） ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology(米国)	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	教授 （学部長）	ｵｶﾓﾄ　ﾖｼｶｽﾞ 岡本　芳和 （45） ＜平成28年４月＞ 博士（英語学）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology Ⅰ ※ English Teaching Methodology Ⅱ ※ English Teaching Methodology Ⅲ ※ English Teaching Methodology Ⅳ ※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶ　ﾀﾂﾔ 岡　達哉 (48) ＜平成30年４月＞ Master of Public Administration （米国）	Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English Ⅰ Tourism English Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	准教授	ﾀﾅｶ　ﾌｼﾞﾐ 田中　富士美 (48) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(英国)	International Testing Ⅰ International Testing Ⅱ Debate Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	准教授	ﾀｶﾊｼ　ﾕｳｺ 高橋　優子 (47) ＜平成28年４月＞ 修士(法学) Master of Arts in Theology(米国) 修士(文学)※	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	准教授	ﾊﾞｲﾔｰ　ｱﾋﾑ　ｳﾙﾞ Bayer,Achim Uwe (45) ＜平成28年４月＞ Doktor der Philosophie （ドイツ）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶ　ﾀﾂﾔ 岡　達哉 (46) ＜平成30年４月＞ Master of Public Administration （米国）	Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English Ⅰ Tourism English Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	准教授	ﾀﾅｶ　ﾌｼﾞﾐ 田中　富士美 (48) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(英国)	International Testing Ⅰ International Testing Ⅱ Debate Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	**講師**	**ｸﾘﾉ　ﾓｴ 栗野　萌 (34) ＜平成29年４月＞ Doctorado en filosofía （スペイン）**	**基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis**
専	准教授	ﾊﾞｲﾔｰ　ｱﾋﾑ　ｳﾍﾞ ´Bayer,Achim Uwe (45) ＜平成28年４月＞ Doktor der Philosophie （ドイツ）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶ　ﾀﾂﾔ 岡　達哉 (47) ＜平成30年４月＞ Master of Public Administration （米国）	Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English Ⅰ Tourism English Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	准教授	ﾀﾅｶ　ﾌｼﾞﾐ 田中　富士美 (49) ＜平成29年４月＞ MA in TESOL(英国)	International Testing Ⅰ International Testing Ⅱ **International Testing Ⅲ** **International Testing Ⅳ** Debate Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	**講師**	**ｸﾘﾉ　ﾓｴ 栗野　萌 (35) ＜平成29年４月＞ Doctorado en filosofía （スペイン）**	**基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis**
専	准教授	ﾊﾞｲﾔｰ　ｱﾋﾑ　ｳﾍﾞ Bayer,Achim Uwe (46) ＜平成28年４月＞ Doktor der Philosophie （ドイツ）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	ｵｶ　ﾀﾂﾔ 岡　達哉 (48) ＜平成30年４月＞ Master of Public Administration （米国）	Hospitality **Leisure Studies** **Tourism Culture Practice** **Tourist Destinations and History** **Hospitality Practice**
専	**教授**	**ｻｲﾄｳ　ﾁｴ 齋藤　千恵 (54) ＜平成30年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology（米国）**	**Tourism English Ⅰ Tourism English Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis Culture and Society in Tourism**
専	准教授	ﾀﾅｶ　ﾌｼﾞﾐ 田中　富士美 (50) ＜平成29年４月＞ MA in TESOL(英国)	International Testing Ⅰ International Testing Ⅱ **International Testing Ⅲ** **International Testing Ⅳ** Debate Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	**講師**	**ｸﾘﾉ　ﾓｴ 栗野　萌 (36) ＜平成29年４月＞ Doctorado en filosofía （スペイン）**	**基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis Thought and Culture Global Issues**
専	准教授	ﾊﾞｲﾔｰ　ｱﾋﾑ　ｳﾍﾞ Bayer,Achim Uwe (47) ＜平成28年４月＞ Doktor der Philosophie （ドイツ）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	ｵｶ　ﾀﾂﾔ 岡　達哉 (49) ＜平成30年４月＞ Master of Public Administration （米国）	Hospitality **Leisure Studies** **Tourism Culture Practice** **Tourist Destinations and History** **Hospitality Practice** **Tourism Practice**
専	**教授**	**ｻｲﾄｳ　ﾁｴ 齋藤　千恵 (55) ＜平成30年４月＞ Doctor of Philosophy Anthropology（米国）**	**Tourism English Ⅰ Tourism English Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis Culture and Society in Tourism**
専	准教授	ﾀﾅｶ　ﾌｼﾞﾐ 田中　富士美 (51) ＜平成29年４月＞ MA in TESOL(英国)	International Testing Ⅰ International Testing Ⅱ **International Testing Ⅲ** **International Testing Ⅳ** Debate Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
専	**講師**	**ｸﾘﾉ　ﾓｴ 栗野　萌 (37) ＜平成29年４月＞ Doctorado en filosofía （スペイン）**	**基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis Thought and Culture Global Issues**
専	准教授	ﾊﾞｲﾔｰ　ｱﾋﾑ　ｳﾍﾞ Bayer,Achim Uwe (48) ＜平成28年４月＞ Doktor der Philosophie （ドイツ）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶﾞﾜ　ﾋｻｼ 小河　久志 (42) ＜平成30年４月＞ 博士(文学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	ﾘﾝﾁ ｷﾞｬﾋﾞﾝ ﾘｰ LYNCH GAVIN LEIGH (39) ＜平成28年４月＞ Master of Education （英国）	Conversation Skills Ⅰ Conversation Skills Ⅱ Phrase and Expression Training Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
兼担	教授	ｻﾄｳ　ﾕｷｴ 佐藤　幸江 (64) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	介護等体験（事前・事後の指導を含む）
兼担	教授	ﾀｶ　ｹﾝｲﾁ 高　賢一 (63) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	教育心理学（中等） 教育相談の理論と方法（中等）
兼担	教授	ﾑﾗｲ　ﾏｽｵ 村井　万寿夫 (60) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	生徒・進路指導論（中等） 教育課程論（中等） 教育方法論（中等）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶﾞﾜ　ﾋｻｼ 小河　久志 (40) ＜平成30年４月＞ 博士(文学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	ﾘﾝﾁ ｷﾞｬﾋﾞﾝ ﾘｰ LYNCH GAVIN LEIGH (39) ＜平成28年４月＞ Master of Education （英国）	Conversation Skills Ⅰ Conversation Skills Ⅱ Phrase and Expression Training Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
兼担	教授	ｻﾄｳ　ﾕｷｴ 佐藤　幸江 (62) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	介護等体験（事前・事後の指導を含む）
兼担	教授	ﾀｶ　ｹﾝｲﾁ 高　賢一 (62) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	教育心理学（中等） 教育相談の理論と方法（中等）
兼担	教授	ｶﾜﾉ　ﾄｼﾋﾛ 河野　俊寛 (58) ＜平成29年４月＞ 博士（学術）	教育心理学（中等）
兼任	講師	ｱｻｶﾜ　ｱﾂｼ 浅川　淳司 (31) ＜平成29年４月＞ 博士（心理学）	教育心理学（中等）
兼担	教授	ﾑﾗｲ　ﾏｽｵ 村井　万寿夫 (59) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	生徒・進路指導論（中等） 教育課程論（中等） 教育方法論（中等） 特別活動の理論と方法（中等）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶﾞﾜ　ﾋｻｼ 小河　久志 (41) ＜平成30年４月＞ 博士(文学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	ﾘﾝﾁ ｷﾞｬﾋﾞﾝ ﾘｰ LYNCH GAVIN LEIGH (40) ＜平成28年４月＞ Master of Education （英国）	Conversation Skills Ⅰ Conversation Skills Ⅱ Phrase and Expression Training Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
兼担	教授	ｻﾄｳ　ﾕｷｴ 佐藤　幸江 (63) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	介護等体験（事前・事後の指導を含む）
兼担	教授	ﾀｶ　ｹﾝｲﾁ 高　賢一 (63) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	教育心理学（中等） 教育相談の理論と方法（中等）
兼担	教授	ｺｳﾉ　ﾄｼﾋﾛ 河野　俊寛 (60) ＜平成29年４月＞ 博士（学術）	教育心理学（中等）
兼任	講師	ｱｻｶﾜ　ｱﾂｼ 浅川　淳司 (32) ＜平成29年４月＞ 博士（心理学）	教育心理学（中等）
兼担	教授	ﾑﾗｲ　ﾏｽｵ 村井　万寿夫 (60) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	生徒・進路指導論（中等） 教育課程論（中等） 教育方法論（中等） 特別活動の理論と方法（中等）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶﾞﾜ　ﾋｻｼ 小河　久志 (42) ＜平成30年４月＞ 博士(文学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	ﾘﾝﾁ ｷﾞｬﾋﾞﾝ ﾘｰ LYNCH GAVIN LEIGH (41) ＜平成28年４月＞ Master of Education （英国）	Conversation Skills Ⅰ Conversation Skills Ⅱ Phrase and Expression Training Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
兼担	教授	ｻﾄｳ　ﾕｷｴ 佐藤　幸江 (64) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	介護等体験（事前・事後の指導を含む）※
兼担	講師	ｵｵﾊｼ　ﾅｵｺ 大橋　菜穂子 (38) ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	介護等体験（事前・事後の指導を含む）※ 教育方法論（中等）※ 教育学概論（中等）※
兼担	教授	ﾀｶ　ｹﾝｲﾁ 高　賢一 (64) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	教育心理学（中等）※ 教育相談の理論と方法（中等）
兼担	教授	ｶﾜﾉ　ﾄｼﾋﾛ 河野　俊寛 (61) ＜平成29年４月＞ 博士（学術）	教育心理学（中等）※
兼任	講師	ｱｻｶﾜ　ｱﾂｼ 浅川　淳司 (33) ＜平成29年４月＞ 博士（心理学）	教育心理学（中等）※
兼任	講師	ﾑﾗｲ　ﾏｽｵ 村井　万寿夫 (61) ＜平成29年４月＞ 修士（教育学）	生徒・進路指導論（中等）※ 教育課程論（中等）※ 教育方法論（中等）※ 特別活動の理論と方法（中等）※
兼担	准教授	ｵｶﾓﾄ　ﾔｽﾋﾛ 岡本　泰弘 (51) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	生徒・進路指導論（中等）※ 特別活動の理論と方法（中等）※
兼担	准教授	ｱｸﾀｶﾞﾜ　ﾓﾄｷ 芥川　元喜 (42) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	教育課程論（中等）※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	ｵｶﾞﾜ　ﾋｻｼ 小河　久志 (43) ＜平成30年４月＞ 博士(文学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture※ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Islam and Culture Graduation Thesis
専	准教授	ﾘﾝﾁ ｷﾞｬﾋﾞﾝ ﾘｰ LYNCH GAVIN LEIGH (42) ＜平成28年４月＞ Master of Education （英国）	Conversation Skills Ⅰ Conversation Skills Ⅱ Phrase and Expression Training Ⅱ Major Study Seminar Ⅰ Major Study Seminar Ⅱ Graduation Thesis
兼担	講師	ｵｵﾊｼ　ﾅｵｺ 大橋　菜穂子 (39) ＜平成30年４月＞ 博士（教育学）	介護等体験（事前・事後の指導を含む）※ 教育方法論（中等）※ 教育学概論（中等）※
兼任	講師	ｱｻｶﾜ　ｱﾂｼ 浅川　淳司 (34) ＜平成29年４月＞ 博士（心理学）	教育心理学（中等）※
兼担	教授	ｵｶﾓﾄ　ﾔｽﾋﾛ 岡本　泰弘 (52) ＜平成30年４月＞ 博士（医学）	生徒・進路指導論（中等）※ 特別活動の理論と方法（中等）※ 教育心理学（中等） 教職入門（中等） 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教育相談の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾐﾔｷ　ｾｲｼﾞﾛｳ 宮　聖二郎 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（学校教育学）	生徒・進路指導論（中等）
兼担	准教授	ｱｸﾀｶﾞﾜ　ﾓﾄｷ 芥川　元喜 (43) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	教育課程論（中等）※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ｲｹﾀﾞ　ﾕｷｵ 池田　幸應 (59) ＜平成31年４月＞ 教育学修士	教職実践演習C（中・高）
兼担	教授	ｲﾜｵｶ　ｹﾝｽｹ 岩岡　研典 (59) ＜平成28年４月＞ 教育学修士※	スポーツ科学演習
兼担	教授	ﾓﾄﾔｽ　ﾋﾛｼ 本康　宏史 (58) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	歴史学 金沢文化演習
兼担	教授	ｶﾜｲ　ｼｮｳｼﾞ 河合　正二 (57) ＜平成28年４月＞ 博士(法学)	日本国憲法 法学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ﾖｼﾄ 井上　好人 (56) ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	社会学 教育学概論（中等） 教育社会学（中等） 特別活動の理論と方法（中等）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ｲｹﾀﾞ　ﾕｷｵ 池田　幸應 (56) ＜平成31年４月＞ 教育学修士	教職実践演習C（中・高）
兼担	教授	ｲﾜｵｶ　ｹﾝｽｹ 岩岡　研典 (59) ＜平成28年４月＞ 教育学修士※	スポーツ科学演習
兼担	教授	ﾓﾄﾔｽ　ﾋﾛｼ 本康　宏史 (58) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	歴史学 金沢文化演習
兼担	教授	ｶﾜｲ　ｼｮｳｼﾞ 河合　正二 (57) ＜平成28年４月＞ 博士(法学)	日本国憲法 法学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ﾖｼﾄ 井上　好人 (57) ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	社会学 教育学概論（中等） 教育社会学（中等） ~~特別活動の理論と方法（中等）~~
兼任	講師	ﾏﾓﾘ　ﾋﾃﾞﾄｼ 衛　英敏 (59) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	特別活動の理論と方法（中等）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ｲｹﾀﾞ　ﾕｷｵ 池田　幸應 (57) ＜平成31年４月＞ 教育学修士	教職実践演習C（中・高）
兼担	教授	ｲﾜｵｶ　ｹﾝｽｹ 岩岡　研典 (60) ＜平成28年４月＞ 教育学修士※	スポーツ科学演習
兼担	教授	ﾓﾄﾔｽ　ﾋﾛｼ 本康　宏史 (59) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	歴史学 金沢文化演習
兼担	**教授**	**ｿｶﾞ　ﾃﾙﾙ 曾我　千春 (51) ＜平成29年４月＞ 博士（学術）**	**日本国憲法**
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ﾖｼﾄ 井上　好人 (58) ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	社会学 教育学概論（中等） 教育社会学（中等） ~~特別活動の理論と方法（中等）~~
兼任	講師	ﾏﾓﾘ　ﾋﾃﾞﾄｼ 衛　英敏 (60) ＜平成30年４月＞ 修士（教育学）	特別活動の理論と方法（中等）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ｲｹﾀﾞ　ﾕｷｵ 池田　幸應 (58) ＜平成31年４月＞ 教育学修士	教職実践演習C（中・高）
兼担	教授	ｲﾜｵｶ　ｹﾝｽｹ 岩岡　研典 (61) ＜平成28年４月＞ 教育学修士※	スポーツ科学演習
兼担	教授	ﾓﾄﾔｽ　ﾋﾛｼ 本康　宏史 (60) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	歴史学 金沢文化演習
兼担	**講師**	**ﾂﾁﾔ　ﾋﾄﾐ 土屋　仁美 (39) ＜平成30年４月＞ 博士（法学）**	**日本国憲法 法学**
兼担	**講師**	**ﾜﾀﾅﾍﾞ　ｶｽﾞﾐﾁ 渡邉　和道 (39) ＜平成30年４月＞ 修士（法学）**	**日本国憲法 法学**
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ﾖｼﾄ 井上　好人 (59) ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	~~社会学~~ ~~教育学概論（中等）※~~ 教育社会学（中等） ~~特別活動の理論と方法（中等）~~
兼任	**講師**	**ﾀｹﾅｶ　ﾕｳｼﾞ 竹中　祐二 (37) ＜平成30年４月＞ 博士（福祉社会学）**	**社会学**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ｲｹﾀﾞ　ﾕｷｵ 池田　幸應 (59) ＜平成31年４月＞ 教育学修士	教職実践演習C（中・高）
兼担	**助教**	**ｶｻﾊﾗ　ｱｷｺ 笠原　亜希子 (49) ＜平成31年4月＞ 修士（スポーツ社会学）**	**スポーツ科学演習 健康科学演習**
兼担	教授	ﾓﾄﾔｽ　ﾋﾛｼ 本康　宏史 (61) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	歴史学 金沢文化演習
兼担	**教授**	**ｿｶﾞ　ﾃﾙﾙ 曾我　千春 (53) ＜平成29年４月＞ 博士（学術）**	**日本国憲法**
兼担	**講師**	**ﾂﾁﾔ　ﾋﾄﾐ 土屋　仁美 (40) ＜平成30年４月＞ 博士（法学）**	**日本国憲法 法学**
兼担	**講師**	**ﾜﾀﾅﾍﾞ　ｶｽﾞﾐﾁ 渡邉　和道 (40) ＜平成30年４月＞ 修士（法学）**	**法学**
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ﾖｼﾄ 井上　好人 (60) ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	~~社会学~~ ~~教育学概論（中等）※~~ 教育社会学（中等） ~~特別活動の理論と方法（中等）~~
兼任	**講師**	**ﾀｹﾅｶ　ﾕｳｼﾞ 竹中　祐二 (38) ＜平成30年４月＞ 博士（福祉社会学）**	**社会学**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ﾊﾞﾊﾞ　ﾊｼﾞﾑ 馬場　治 (56) ＜平成28年４月＞ 博士（文学）	日本文学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ｱｷﾋﾛ 井上　明浩 (55) ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	障害者教育
兼担	教授	ﾂｼﾞ　ｹﾝｲﾁ 辻　建一 (55) ＜平成28年４月＞ 修士 （英語英文学）※	Reading Skills Ⅰ Reading Skills Ⅱ 英米文学/English and American Literature American Society and Culture
兼担	教授	ｼﾐｽﾞ　ｶｽﾞﾋｻ 清水　和久 (53) ＜平成28年４月＞ 修士(教育学)	教職入門（中等） 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼担	教授	ﾅｶﾑﾗ　ｱｹﾐ 中村　朱美 (53) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	日本文学
兼担	教授	ｷﾝﾓﾄ　ﾋﾃﾞｶｽﾞ 岸本　秀一 (51) ＜平成28年４月＞ 博士(経営学)	経営学
兼担	教授	ﾅｶﾞｻｶ　ﾏｻｵ 永坂　正夫 (48) ＜平成28年４月＞ 博士(理学)	自然科学概論 環境学
兼担	教授	ｵｸﾀﾞ　ﾃﾂﾋﾄ 奥田　鉄人 (45) ＜平成28年４月＞ 博士（医学）	健康・スポーツ科学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ﾊﾞﾊﾞ　ﾊｼﾞﾑ 馬場　治 (56) ＜平成28年４月＞ 博士（文学）	日本文学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ｱｷﾋﾛ 井上　明浩 (55) ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	障害者教育
兼担	教授	ﾂｼﾞ　ｹﾝｲﾁ 辻　建一 (55) ＜平成28年４月＞ 修士 （英語英文学）※	Reading Skills Ⅰ Reading Skills Ⅱ 英米文学/English and American Literature American Society and Culture
兼担	教授	ｼﾐｽﾞ　ｶｽﾞﾋｻ 清水　和久 (53) ＜平成28年４月＞ 修士(教育学)	教職入門（中等） 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼担	教授	ﾅｶﾑﾗ　ｱｹﾐ 中村　朱美 (54) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	日本文学
兼担	教授	ｷﾝﾓﾄ　ﾋﾃﾞｶｽﾞ 岸本　秀一 (51) ＜平成28年４月＞ 博士(経営学)	経営学
兼担	教授	ﾅｶﾞｻｶ　ﾏｻｵ 永坂　正夫 (49) ＜平成28年４月＞ 博士(理学)	自然科学概論 環境学
兼担	教授	ｵｸﾀﾞ　ﾃﾂﾋﾄ 奥田　鉄人 (45) ＜平成28年４月＞ 博士（医学）	健康・スポーツ科学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ﾊﾞﾊﾞ　ﾊｼﾞﾑ 馬場　治 (57) ＜平成28年４月＞ 博士（文学）	日本文学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ｱｷﾋﾛ 井上　明浩 (56) ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	障害者教育
兼担	教授	ﾂｼﾞ　ｹﾝｲﾁ 辻　建一 (56) ＜平成28年４月＞ 修士 （英語英文学）※	Reading Skills Ⅰ Reading Skills Ⅱ 英米文学/English and American Literature American Society and Culture
兼担	教授	ｼﾐｽﾞ　ｶｽﾞﾋｻ 清水　和久 (54) ＜平成28年４月＞ 修士(教育学)	教職入門（中等） 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼担	教授	ﾅｶﾑﾗ　ｱｹﾐ 中村　朱美 (55) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	日本文学
兼担	教授	ｷﾝﾓﾄ　ﾋﾃﾞｶｽﾞ 岸本　秀一 (52) ＜平成28年４月＞ 博士(経営学)	経営学
兼担	教授	ﾅｶﾞｻｶ　ﾏｻｵ 永坂　正夫 (50) ＜平成28年４月＞ 博士(理学)	自然科学概論 環境学
兼担	教授	ｵｸﾀﾞ　ﾃﾂﾋﾄ 奥田　鉄人 (46) ＜平成28年４月＞ 博士（医学）	健康・スポーツ科学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ﾊﾞﾊﾞ　ﾊｼﾞﾑ 馬場　治 (58) ＜平成28年４月＞ 博士（文学）	日本文学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ｱｷﾋﾛ 井上　明浩 (57) ＜平成28年４月＞ 修士(教育学)	障害者教育
兼担	教授	ﾂｼﾞ　ｹﾝｲﾁ 辻　建一 (57) ＜平成28年４月＞ 修士 （英語英文学）※	Reading Skills Ⅰ Reading Skills Ⅱ 英米文学/English and American Literature American Society and Culture European Society and Culture
兼任	**講師**	**ﾕｳｷ　ﾏｻﾐ 結城　正美 (49) ＜平成30年４月＞ 修士（英語教育専攻）**	**American Society and Culture**
兼担	教授	ｼﾐｽﾞ　ｶｽﾞﾋｻ 清水　和久 (55) ＜平成28年４月＞ 修士(教育学)	教職入門（中等） 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ
兼担	教授	ﾅｶﾑﾗ　ｱｹﾐ 中村　朱美 (56) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	日本文学
兼担	教授	ｷﾝﾓﾄ　ﾋﾃﾞｶｽﾞ 岸本　秀一 (53) ＜平成28年４月＞ 博士(経営学)	経営学
兼担	教授	ﾅｶﾞｻｶ　ﾏｻｵ 永坂　正夫 (50) ＜平成28年４月＞ 博士(理学)	自然科学概論 環境学
兼任	**講師**	**ｸﾆﾓﾄ　ｺｳｷ 國本　浩喜 (66) ＜平成30年４月＞ 薬学博士**	**自然科学概論**
兼任	**講師**	**ﾜｸﾗｲ　ﾀｹｼ 櫻井　武 (67) ＜平成30年４月＞ 工学博士**	**環境学**
兼担	教授	ｵｸﾀﾞ　ﾃﾂﾋﾄ 奥田　鉄人 (47) ＜平成28年４月＞ 博士（医学）	健康・スポーツ科学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	ﾊﾞﾊﾞ　ﾊｼﾞﾑ 馬場　治 (59) ＜平成28年４月＞ 博士（文学）	日本文学
兼担	教授	ｲﾉｳｴ　ｱｷﾋﾛ 井上　明浩 (58) ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	障害者教育
兼担	教授	ﾂｼﾞ　ｹﾝｲﾁ 辻　建一 (58) ＜平成28年４月＞ 修士 （英語英文学）※	Reading Skills Ⅰ Reading Skills Ⅱ 英米文学/English and American Literature American Society and Culture European Society and Culture
兼任	**講師**	**ﾕｳｷ　ﾏｻﾐ 結城　正美 (49) ＜平成30年４月＞ 修士（英語教育専攻）**	**American Society and Culture**
兼担	**教授**	**ｲﾝｶﾜ　ｱﾂｵ 石川　敦夫 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（経営学）**	**経営学**
兼任	**講師**	**ｸﾆﾓﾄ　ｺｳｷ 國本　浩喜 (67) ＜平成30年４月＞ 薬学博士**	**自然科学概論**
兼任	**講師**	**ﾜｸﾗｲ　ﾀｹｼ 櫻井　武 (68) ＜平成30年４月＞ 工学博士**	**環境学**
兼担	教授	ｵｸﾀﾞ　ﾃﾂﾋﾄ 奥田　鉄人 (48) ＜平成28年４月＞ 博士（医学）	健康・スポーツ科学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ｼﾞｮﾏﾀﾞﾙ　ﾅｼﾙ ジョマダル　ナシル (59) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	International Development
兼担	准教授	ｺｲｿﾞ　ﾁﾋﾛ 小磯　千尋 (58) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy （インド）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture
兼担	准教授	ﾓﾘ　ﾉﾌﾞｴ 森　延江 (54) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Linguistics（米国）	Phrase and Expression TrainingⅢ Phrase and Expression TrainingⅣ Translation Practice Ⅰ Translation Practice Ⅱ
兼担	准教授	ｻｻｷ　ﾔｽﾅﾘ 佐々木　康成 (45) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	心理学 情報リテラシー 情報学
兼担	講師	ｴﾀﾞﾑﾗ　ｼｮｳﾍｲ 枝村　祥平 (39) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼任	講師	ｻｶｲ　ｷｸｺ 坂井　紀公子 (46) ＜平成28年４月＞ 博士(地域研究)	人文地理学/Human Geography
兼担	講師	ｶﾄｳ　ﾀｶﾋﾛ 加藤　隆宏 (44) ＜平成30年４月＞ Dr.Phil., Indologie （ドイツ）	基礎ゼミナール Asian Society and Culture Hinduism and Culture Thought and Culture Global Issues
兼担	講師	ｻﾉ　ﾋﾛﾖｼ 佐野　浩祥 (40) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼担	講師	ｺﾆｼ　ｹﾝｺﾞ 小西　賢吾 (36) ＜平成28年４月＞ 博士(人間・環境学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	ｼﾞｮﾏﾀﾞﾙ　ﾅｼﾙ ジョマダル　ナシル (56) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	International Development
兼担	准教授	ｺｲｿﾞ　ﾁﾋﾛ 小磯　千尋 (59) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy （インド）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture
兼担	准教授	ﾓﾘ　ﾉﾌﾞｴ 森　延江 (54) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Linguistics（米国）	Phrase and Expression TrainingⅢ Phrase and Expression TrainingⅣ Translation Practice Ⅰ Translation Practice Ⅱ
兼担	准教授	ｻｻｷ　ﾔｽﾅﾘ 佐々木　康成 (45) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	心理学 情報リテラシー 情報学
兼担	講師	ｴﾀﾞﾑﾗ　ｼｮｳﾍｲ 枝村　祥平 (39) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼任	講師	ｻｶｲ　ｷｸｺ 坂井　紀公子 (46) ＜平成28年４月＞ 博士(地域研究)	人文地理学/Human Geography
兼担	講師	ｶﾄｳ　ﾀｶﾋﾛ 加藤　隆宏 (44) ＜平成30年４月＞ Dr.Phil., Indologie （ドイツ）	基礎ゼミナール Asian Society and Culture Hinduism and Culture Thought and Culture Global Issues
兼担	**准教授**	ｻﾉ　ﾋﾛﾖｼ 佐野　浩祥 (38) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼担	講師	ｺﾆｼ　ｹﾝｺﾞ 小西　賢吾 (36) ＜平成28年４月＞ 博士(人間・環境学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	ｼﾞｮﾏﾀﾞﾙ　ﾅｼﾙ ジョマダル　ナシル (57) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	International Development
兼担	准教授	ｺｲｿﾞ　ﾁﾋﾛ 小磯　千尋 (59) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy （インド）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture
兼担	准教授	ﾓﾘ　ﾉﾌﾞｴ 森　延江 (55) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Linguistics（米国）	Phrase and Expression TrainingⅢ Phrase and Expression TrainingⅣ Translation Practice Ⅰ Translation Practice Ⅱ
兼担	**教授**	ｻｻｷ　ﾔｽﾅﾘ 佐々木　康成 (46) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	心理学 情報リテラシー 情報学
兼担	**教授**	ｴﾀﾞﾑﾗ　ｼｮｳﾍｲ 枝村　祥平 (40) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼担	講師	ｻｶｲ　ｷｸｺ 坂井　紀公子 (47) ＜平成28年４月＞ 博士(地域研究)	人文地理学/Human Geography
		後任未定	
		基礎ゼミナール **Asian Society and Culture** **Hinduism and Culture**	
兼担	**准教授**	ｻﾉ　ﾋﾛﾖｼ 佐野　浩祥 (39) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism
兼担	講師	ｺﾆｼ　ｹﾝｺﾞ 小西　賢吾 (37) ＜平成28年４月＞ 博士(人間・環境学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	ｼﾞｮﾏﾀﾞﾙ　ﾅｼﾙ ジョマダル　ナシル (58) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	International Development
兼担	准教授	ｺｲｿﾞ　ﾁﾋﾛ 小磯　千尋 (60) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy （インド）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture **Hinduism and Culture**
兼担	准教授	ﾓﾘ　ﾉﾌﾞｴ 森　延江 (56) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Linguistics（米国）	Phrase and Expression TrainingⅢ Phrase and Expression TrainingⅣ Translation Practice Ⅰ Translation Practice Ⅱ
兼担	**教授**	ｻｻｷ　ﾔｽﾅﾘ 佐々木　康成 (47) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	心理学 情報リテラシー 情報学
兼担	**教授**	ｴﾀﾞﾑﾗ　ｼｮｳﾍｲ 枝村　祥平 (41) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼担	講師	ｻｶｲ　ｷｸｺ 坂井　紀公子 (48) **＜平成30年４月＞** 博士(地域研究)	**基礎ゼミナール** **文化人類学/Cultural Anthropology** 人文地理学/Human Geography **African Society and Culture** **社会調査論**
兼任	**講師**	**ﾀﾑﾗ　ｳﾗﾗ** **田村うらら** **(39)** **＜平成30年４月＞** **博士（人間・環境学）**	**Asian Society and Culture※**
兼担	**准教授**	ｺﾆｼ　ｹﾝｺﾞ 小西　賢吾 (38) ＜平成28年４月＞ 博士(人間・環境学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues **Asian Society and Culture ※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	ｼﾞｮﾏﾀﾞﾙ　ﾅｼﾙ ジョマダル　ナシル (59) ＜平成31年４月＞ 博士（学術）	International Development
兼担	**教授**	ｺｲｿﾞ　ﾁﾋﾛ 小磯　千尋 (61) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy （インド）	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture **Hinduism and Culture** **比較文化※**
兼担	准教授	ﾓﾘ　ﾉﾌﾞｴ 森　延江 (57) ＜平成28年４月＞ Doctor of Philosophy Linguistics（米国）	Phrase and Expression TrainingⅢ Phrase and Expression TrainingⅣ Translation Practice Ⅰ Translation Practice Ⅱ
兼担	**教授**	ｻｻｷ　ﾔｽﾅﾘ 佐々木　康成 (48) ＜平成28年４月＞ 博士（学術）	心理学 情報リテラシー 情報学
兼担	**教授**	ｴﾀﾞﾑﾗ　ｼｮｳﾍｲ 枝村　祥平 (42) ＜平成28年４月＞ 博士(文学)	哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics
兼担	講師	ｻｶｲ　ｷｸｺ 坂井　紀公子 (49) **＜平成30年４月＞** 博士(地域研究)	**基礎ゼミナール** **文化人類学/Cultural Anthropology** 人文地理学/Human Geography **African Society and Culture** **社会調査論**
兼任	**講師**	**ﾀﾑﾗ　ｳﾗﾗ** **田村うらら** **(40)** **＜平成30年４月＞** **博士（人間・環境学）**	**Asian Society and Culture※**
兼担	**准教授**	ｺﾆｼ　ｹﾝｺﾞ 小西　賢吾 (39) ＜平成28年４月＞ 博士(人間・環境学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues **Asian Society and Culture ※** **比較文化※**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	ｶﾜｽﾐ　ｱﾂｼ 川澄　厚志 (35) ＜平成28年４月＞ 博士(国際地域学)	観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼担	講師	ｲｼﾉ　ﾀｸﾔ 石野　卓也 (34) ＜平成28年４月＞ 博士(経済学)	統計学 ※
兼担	講師	ｶﾜﾓﾄ　ｻﾄｼ 川本　智史 (36) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼担	講師	ｸﾗｯｽﾝ　ﾏｰｼｬﾙ Klassen Marshall (34) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(米国)	Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	ｶﾜｽﾐ　ｱﾂｼ 川澄　厚志 (35) ＜平成28年４月＞ 博士(国際地域学)	観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼担	准教授	ｲｼﾉ　ﾀｸﾔ 石野　卓也 (34) ＜平成28年４月＞ 博士(経済学)	統計学 ※
兼担	講師	ｶﾜﾓﾄ　ｻﾄｼ 川本　智史 (34) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼担	講師	ｸﾗｯｽﾝ　ﾏｰｼｬﾙ Klassen Marshall (34) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(米国)	Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	ｶﾜｽﾐ　ｱﾂｼ 川澄　厚志 (36) ＜平成28年４月＞ 博士(国際地域学)	観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies
兼担	准教授	ｲｼﾉ　ﾀｸﾔ 石野　卓也 (35) ＜平成28年４月＞ 博士(経済学)	統計学 ※
兼担	講師	ｶﾜﾓﾄ　ｻﾄｼ 川本　智史 (35) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼任	講師	ﾏｲｹﾙ　ｷｰﾅﾝ Micheal Keenan (39) ＜平成29年４月＞ Master of Science（アイルランド）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ
兼担	講師	ｸﾗｯｽﾝ　ﾏｰｼｬﾙ Klassen Marshall (35) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(米国)	Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ｶﾜｽﾐ　ｱﾂｼ 川澄　厚志 (37) ＜平成28年４月＞ 博士(国際地域学)	観光論入門/Tourism Tourism Practice ~~Hospitality Practice~~ Tourism and Regional Studies
兼担	教授	ｼﾝ　ﾋﾛｱｷ 新　広昭 (62) ＜平成30年４月＞ 博士（社会環境科学）	統計学
兼担	講師	ｶﾜﾓﾄ　ｻﾄｼ 川本　智史 (36) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼任	講師	ﾏｲｹﾙ　ｷｰﾅﾝ Micheal Keenan (40) ＜平成29年４月＞ Master of Science（アイルランド）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ
兼担	講師	ｸﾗｯｽﾝ　ﾏｰｼｬﾙ Klassen Marshall (36) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(米国)	Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ Academic Writing
兼任	講師	ﾌｫｰﾄﾞ　ﾌﾞﾗｲｱﾝ Bryan Ford (31) ＜平成30年４月＞ Bachelor of Science（米国）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ｶﾜｽﾐ　ｱﾂｼ 川澄　厚志 (38) ＜平成28年４月＞ 博士(国際地域学)	観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies Tourism Culture Practice
兼担	教授	ﾅｶﾑﾗ　ｱｷﾗ 中村　明 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	統計学
兼担	講師	ﾀﾅｶ　ｺｳｼｮｳ 田中　颯宇将 (27) ＜平成31年4月＞ 博士（経済学）	統計学
兼担	講師	ｶﾜﾓﾄ　ｻﾄｼ 川本　智史 (37) ＜平成30年４月＞ 博士(工学)	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues
兼担	準教授	ｸﾗｯｽﾝ　ﾏｰｼｬﾙ Klassen Marshall (37) ＜平成28年４月＞ MA in TESOL(米国)	Conversation SkillsⅢ Conversation SkillsⅣ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ Academic Writing
兼任	講師	ﾌｫｰﾄﾞ　ﾌﾞﾗｲｱﾝ Bryan Ford (32) ＜平成30年４月＞ Bachelor of Science（米国）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ Writing Skills Ⅲ Writing Skills Ⅳ
兼任	講師	ﾍﾟﾚｽﾞ　ｻﾗ Perez Sara (29) ＜平成31年４月＞ Master of Arts（米国）	Writing Skills Ⅰ Writing Skills Ⅱ Writing Skills Ⅲ Phrase and Expression Training Ⅲ Phrase and Expression Training Ⅳ
兼担	講師	ﾏｴﾀﾞ　ﾏｻﾋﾛ 前田　昌寛 (43) ＜平成31年４月＞ 修士（教育学）	International Testing Ⅰ International Testing Ⅱ International Testing Ⅲ Reading Skills Ⅰ Reading Skills Ⅱ Reading Skills Ⅲ Reading Skills Ⅳ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	ﾊﾅﾀﾞ　ｼﾝｲﾁ 花田　真一 （34） ＜平成28年４月＞ 修士(経済学)※	統計学 ※
兼担	助教	ﾏﾙｲ　ｶｽﾞﾏｻ 丸井　一誠 （34） ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	健康科学演習
兼担	助教	ﾁｮｳ　ﾘﾝ 張　琳 （30） ＜平成28年４月＞ 博士（経済学）	経済学/Economics
兼任	講師	ｺｻｶ　ｵｻﾑ 小坂　修 （69） ＜平成30年４月＞ 文学修士	European Society and Culture
兼任	講師	ﾊｶﾞ　ﾀﾓﾝ 羽賀　多聞 （67） ＜平成28年４月＞ 理学修士	基礎数学
兼任	講師	ｷﾑﾗ　ﾊﾙﾋｺ 木村　春彦 （64） ＜平成28年４月＞ 工学博士	コミュニケーション概論
兼任	講師	ﾎﾝﾀﾞ　ﾐﾉﾙ 本田　実 （64） ＜平成29年４月＞ 文学士	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾂﾔﾏ　ｱﾂｼ 丸山　敦 （62） ＜平成28年４月＞ 学術修士	歴史学
兼任	准教授	ﾖｺﾉ　ﾅﾙﾐ 横野　成美 （57） ＜平成28年４月＞ 修士（英語学）	International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice Ⅰ Interpretation Practice Ⅱ
兼任	講師	ｲｹﾅｶ　ﾏｻﾐ 池中　雅美 （55） ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	Phonetics

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ﾊﾅﾀﾞ　ｼﾝｲﾁ 花田　真一 （34） ＜平成28年４月＞ 修士(経済学)※	統計学 ※
兼担	助教	ﾏﾙｲ　ｶｽﾞﾏｻ 丸井　一誠 （34） ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	健康科学演習
兼担	講師	ﾁｮｳ　ﾘﾝ 張　琳 （30） ＜平成29年４月＞ 博士（経済学）	経済学/Economics
兼任	講師	ｺｻｶ　ｵｻﾑ 小坂　修 （67） ＜平成30年４月＞ 文学修士	European Society and Culture
兼任	講師	ﾊｶﾞ　ﾀﾓﾝ 羽賀　多聞 （67） ＜平成28年４月＞ 理学修士	基礎数学
兼任	講師	後任未定	
兼任	講師	ﾎﾝﾀﾞ　ﾐﾉﾙ 本田　実 （63） ＜平成29年４月＞ 文学士	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾂｼﾀ　ﾘｮｳﾍｲ 松下　良平 （57） ＜平成29年４月＞ 博士（教育学）	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾙﾔﾏ　ｱﾂｼ 丸山　敦 （63） ＜平成28年４月＞ 学術修士	歴史学
兼任	准教授	ﾖｺﾉ　ﾅﾙﾐ 横野　成美 （57） ＜平成28年４月＞ 修士（英語学）	International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice Ⅰ Interpretation Practice Ⅱ
兼任	講師	ｲｹﾅｶ　ﾏｻﾐ 池中　雅美 （54） ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	Phonetics

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	ﾊﾅﾀﾞ　ｼﾝｲﾁ 花田　真一 （35） ＜平成28年４月＞ 修士(経済学)※	統計学 ※
兼担	助教	ﾏﾙｲ　ｶｽﾞﾏｻ 丸井　一誠 （35） ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	健康科学演習
兼担	講師	ﾁｮｳ　ﾘﾝ 張　琳 （31） ＜平成29年４月＞ 博士（経済学）	経済学/Economics
兼任	講師	ｺｻｶ　ｵｻﾑ 小坂　修 （68） ＜平成30年４月＞ 文学修士	European Society and Culture
兼任	講師	ﾊﾉ　ｶｽﾞｵ 羽野　和夫 （73） ＜平成29年４月＞ 理学士	基礎数学
兼任	講師	後任未定	
兼任	講師	ﾎﾝﾀﾞ　ﾐﾉﾙ 本田　実 （64） ＜平成29年４月＞ 文学士	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾂｼﾀ　ﾘｮｳﾍｲ 松下　良平 （58） ＜平成29年４月＞ 博士（教育学）	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾙﾔﾏ　ｱﾂｼ 丸山　敦 （64） ＜平成28年４月＞ 学術修士	歴史学
兼任	准教授	ﾖｺﾉ　ﾅﾙﾐ 横野　成美 （58） ＜平成28年４月＞ 修士（英語学）	International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice Ⅰ Interpretation Practice Ⅱ
兼任	講師	ｲｹﾅｶ　ﾏｻﾐ 池中　雅美 （55） ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	Phonetics

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	ﾏﾙｲ　ｶｽﾞﾏｻ 丸井　一誠 （36） ＜平成28年４月＞ 修士（教育学）	健康科学演習
兼担	講師	ﾁｮｳ　ﾘﾝ 張　琳 （32） ＜平成29年４月＞ 博士（経済学）	経済学/Economics
兼任	講師	ﾊﾉ　ｶｽﾞｵ 羽野　和夫 （74） ＜平成29年４月＞ 理学士	基礎数学
兼任	講師	ﾎﾝﾊﾞ　ﾋﾃﾞｵ 千場　久男 （64） ＜平成30年４月＞ 理学修士	基礎数学
兼任	講師	ﾍﾚﾝ　ﾋﾞｾｯﾄ Helen Bissett （49） ＜平成30年４月＞ Master in Education	Conversation SkillsⅠ
兼任	講師	ﾅｶｶﾞﾜ　ﾏｻｼ 中川　将志 （49） ＜平成30年４月＞ 学士（情報学）	コミュニケーション概論
兼任	講師	ﾎﾝﾀﾞ　ﾐﾉﾙ 本田　実 （65） ＜平成29年４月＞ 文学士	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾙﾔﾏ　ｱﾂｼ 丸山　敦 （65） ＜平成28年４月＞ 学術修士	歴史学
兼任	准教授	ﾖｺﾉ　ﾅﾙﾐ 横野　成美 （59） ＜平成28年４月＞ 修士（英語学）	International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice Ⅰ Interpretation Practice Ⅱ
兼任	講師	ｲｹﾅｶ　ﾏｻﾐ 池中　雅美 （56） ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	Phonetics

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	ﾁｮｳ　ﾘﾝ 張　琳 （33） ＜平成29年４月＞ 博士（経済学）	経済学/Economics
兼任	講師	ﾊﾉ　ｶｽﾞｵ 羽野　和夫 （75） ＜平成29年４月＞ 理学士	基礎数学
兼任	講師	ﾍﾚﾝ　ﾋﾞｾｯﾄ Helen Bissett （50） ＜平成30年４月＞ Master in Education	Conversation SkillsⅠ Conversation Skills Ⅱ Business EnglishⅠ Business EnglishⅡ
兼任	講師	ﾅｶｶﾞﾜ　ﾏｻｼ 中川　将志 （50） ＜平成30年４月＞ 学士（情報学）	コミュニケーション概論
兼任	講師	ﾎﾝﾀﾞ　ﾐﾉﾙ 本田　実 （66） ＜平成29年４月＞ 文学士	道徳教育の理論と方法（中等）
兼任	講師	ﾏﾙﾔﾏ　ｱﾂｼ 丸山　敦 （66） ＜平成28年４月＞ 学術修士	歴史学
兼任	准教授	ﾖｺﾉ　ﾅﾙﾐ 横野　成美 （60） ＜平成28年４月＞ 修士（英語学）	International TestingⅢ International TestingⅣ Interpretation Practice Ⅰ Interpretation Practice Ⅱ
兼任	講師	ｲｹﾅｶ　ﾏｻﾐ 池中　雅美 （57） ＜平成29年４月＞ 修士(教育学)	Phonetics

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ﾘﾁｬｰﾄﾞ ﾌﾞﾗｲｱﾝ ｶｰﾃｨｽ Richard Braian Curtis (55) ＜平成29年４月＞ Bachelor of Arts（米国）	Business English Ⅰ Business English Ⅱ
兼任	講師	ｱｵｷ　ﾀﾂﾄ 青木　賢人 (46) ＜平成28年４月＞ 博士（理学）	自然地理学
兼任	講師	ｷﾑﾗ　ﾀｶﾋﾛ 木村　高宏 (42) ＜平成28年４月＞ 博士(政策科学)	政治学
兼任	講師	ｻﾄｳ　ﾌｸｺ 佐藤　福子 (42) ＜平成28年４月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language（米国）	Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ﾘﾁｬｰﾄﾞ ﾌﾞﾗｲｱﾝ ｶｰﾃｨｽ Richard Braian Curtis (53) ＜平成29年４月＞ Bachelor of Arts（米国）	Business English Ⅰ Business English Ⅱ
兼任	講師	ｱｵｷ　ﾀﾂﾄ 青木　賢人 (46) ＜平成28年４月＞ 博士（理学）	自然地理学
兼任	講師	ｷﾑﾗ　ﾀｶﾋﾛ 木村　高宏 (41) ＜平成28年４月＞ 博士(政策科学)	政治学
兼任	講師	ｻﾄｳ　ﾌｸｺ 佐藤　福子 (42) ＜平成28年４月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language（米国）	Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ﾘﾁｬｰﾄﾞ ﾌﾞﾗｲｱﾝ ｶｰﾃｨｽ Richard Braian Curtis (54) ＜平成29年４月＞ Bachelor of Arts（米国）	Business English Ⅰ Business English Ⅱ
兼任	講師	ｱｵｷ　ﾀﾂﾄ 青木　賢人 (47) ＜平成28年４月＞ 博士（理学）	自然地理学
兼任	講師	ｷﾑﾗ　ﾀｶﾋﾛ 木村　高宏 (42) ＜平成28年４月＞ 博士(政策科学)	政治学
兼任	講師	ｻﾄｳ　ﾌｸｺ 佐藤　福子 (43) ＜平成28年４月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language（米国）	Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ﾘﾁｬｰﾄﾞ ﾌﾞﾗｲｱﾝ ｶｰﾃｨｽ Richard Braian Curtis (55) ＜平成29年４月＞ Bachelor of Arts（米国）	Business English Ⅰ Business English Ⅱ
兼任	講師	ｱｵｷ　ﾀﾂﾄ 青木　賢人 (48) ＜平成28年４月＞ 博士（理学）	自然地理学
兼任	講師	ｷﾑﾗ　ﾀｶﾋﾛ 木村　高宏 (43) ＜平成28年４月＞ 博士(政策科学)	政治学
兼任	講師	ｻﾄｳ　ﾌｸｺ 佐藤　福子 (44) ＜平成28年４月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language（米国）	Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	ｱｵｷ　ﾀﾂﾄ 青木　賢人 (49) ＜平成28年４月＞ 博士（理学）	自然地理学
兼任	講師	ｷﾑﾗ　ﾀｶﾋﾛ 木村　高宏 (44) ＜平成28年４月＞ 博士(政策科学)	政治学
兼任	講師	ｻﾄｳ　ﾌｸｺ 佐藤　福子 (45) ＜平成28年４月＞ Master of Arts Teaching Foreign Language（米国）	Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）－②担当教員表に関する変更内容

【平成２８年度】

・平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス授業に変更のため川村義治教授の担当科目追加。平成28年6月に変更書提出予定。
・平成27年10月髙橋優子准教授就任辞退により棄野萌講師に変更。平成27年12月教員審査済み。
・本人妊娠の為、棄野萌講師就任年月を平成29年４月に変更。
・平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス方式に変更し、河野俊寛教授、浅川淳司講師を担当者として追加。
・平成27年11月教職課程認定申請時において井上好人教授不可の為、担当者を変更しオムニバス方式に変更。村井万寿夫教授、衛英敏講師を担当者として追加。
・平成28年4月ジョマダルナシル准教授、昇任により職名を教授に変更。
・平成28年4月佐野浩祥講師、昇任により職名を准教授に変更。
・平成28年4月石野卓也講師、昇任により職名を准教授に変更。
・平成28年4月花田真一講師、昇任により職名を准教授に変更。
・平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス方式に変更し、松下良平講師を担当者として追加。

【平成２９年度】

・平成27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス授業に変更のため川村義治教授の担当科目追加。平成28年8月教員審査済み。
・田中富士美准教授担当科目追加。平成29年6月教員審査済み。
・平成29年4月所属学部の都合により、河合正二教授から曽我千春教授に担当者変更。
・平成29年4月佐々木康成准教授、昇任により職名を教授に変更。
・平成29年4月枝村祥平講師、昇任により職名を教授に変更。
・平成28年6月加藤隆宏講師、他大学就任のため辞退により、棄野萌講師に2科目変更。平成29年6月教員審査済み。基礎ゼミナールは他に担当者が複数名いるため支障なし。後任未定のAsian Society and Cilture,Hinduism and Cultureは担当者を平成30年4月に兼任教員採用予定。
・平成29年4月Micheal Keenan講師を兼担として追加。
・平成29年3月張琳助教退職により就任辞退のため、平成29年4月張淼講師に担当変更。
・平成29年3月羽賀多聞講師就任辞退により平成29年4月羽野和夫講師に担当変更。
・平成29年3月木村春彦講師担当辞退により平成29年11月に兼担教員にて担当予定。（後任未定）

【平成３０年度】

・川村義治教授平成30年3月31日学部長任期終了。
・岡達哉准教授就任辞退。捧富雄教授担当科目追加。（平成29年12月教員審査済み。）
・岡本芳和教授平成30年4月学部長就任。
・岡達哉准教授就任辞退。平成30年4月齋藤千恵教授に変更。（平成29年12月教員審査済み。）
・岡達哉准教授就任辞退。専任から兼担に変更。
・平成30年4月大畠菜穂子講師を兼担として追加。
・村井万寿夫教授平成30年3月31日退職により、兼担から兼任に変更。担当科目「生徒・進路指導論（中等）」をオムニバス方式に変更し、岡本泰弘准教授を担当者として追加。
・村井万寿夫教授平成30年3月31日退職により、兼担から兼任に変更。担当科目「教育課程論（中等）」をオムニバス方式に変更し、芥川元喜准教授および大畠菜穂子講師を兼担として追加。
・「介護等体験（事前･事後の指導を含む）」をオムニバス方式に変更。
・「教育心理学（中等）」をオムニバス形式に変更。
・「生徒・進路指導論（中等）」「教育課程論（中等）」「教育方法論（中等）」をオムニバス形式に変更。
・「教育学概論（中等）」をオムニバス形式に変更。
・平成30年4月土屋仁美講師を兼担として追加。
・平成30年4月渡邊和道講師を兼担として追加。
・平成30年4月竹中祐二講師を兼任として追加。
・平成30年4月結城正美講師を兼任として追加。
・平成30年4月国本浩喜講師を兼任として追加。
・平成30年4月櫻井武講師を兼任として追加。
・平成30年4月田村うらら講師を兼任として追加。
・佐野浩祥准教授平成30年3月退職のため、担当を岡達哉教授および齋藤千恵教授に変更。（平成29年12月教員審査済み。）
・兼任の小坂修講師から担当を兼担の辻建一教授に変更。
・花田真一准教授平成30年3月退職のため、担当者変更、平成30年4月新広昭教授を兼担として追加。
・平成30年4月小西賢吾講師、昇任により職名を准教授に変更。担当科目追加。
・平成30年4月川澄厚志講師、昇任により職名を准教授に変更。
・平成30年4月干場久男講師を兼任として追加。
・平成30年4月新広昭教授を兼担として追加。
・平成30年4月クラッスンマーシャル講師の担当科目追加。
・平成30年4月フォードブライアン講師を兼担として追加。
・平成30年4月ヘレンビセット講師を兼任として追加。
・平成29年3月木村春彦講師担当辞退により、後任未定であったが、平成30年4月中川将志講師を兼任に追加。
・平成30年3月松下良平講師担当辞退。
・小磯准教授担当科目追加。

【令和元年度】

・岡達哉教授の担当科目を追加。
・桑野萌講師　令和元年5月より産休取得のため「比較文化」をオムニバス方式に変更し、小磯千尋准教授および小西賢吾准教授を担当者に追加。
・平成31年3月31日　佐藤幸江教授退職により担当辞退のため、平成31年4月大畠菜穂子講師に担当者を変更。
・平成31年3月31日　高　健一教授退職により担当辞退のため、平成31年4月岡本泰弘教授に担当者を変更。
・「教育心理学（中等）」のオムニバス方式を解消。
・平成30年度4月「特別活動の理論と方法（中等）」をオムニバス方式に変更の記載漏れを修正。
・平成30年度4月土屋仁美講師および渡邊和道講師の担当科目「法学」の記載漏れを修正。
・平成31年3月31日　村井万寿夫講師担当辞退のため、平成31年4月大畠菜穂子講師、岡本泰弘教授、浅川淳司講師、幸聖二郎講師に担当者を変更。
・「介護等体験（事前･事後の指導を含む）」「教育方法論（中等）」「教育学概論（中等）」「特別活動の理論と方法（中等）」「生徒・進路指導論（中等）」「教育課程論(中等）」のオムニバス方式を解消。
・平成31年4月所属学部の都合により、岩岡研典教授から笠原亜希子講師に担当者を変更。
・平成31年4月所属学部の都合により、丸井一誠助教から笠原亜希子講師に担当者を変更。
・平成31年4月所属学部の都合により、岸本秀一教授から石川敦夫教授に担当者を変更。
・平成31年4月所属学部の都合により、新広昭教授から中村明教授および田中頌宇将講師に担当者を変更。
・川澄厚志准教授の担当科目を追加。
・平成31年4月笠原亜希子助教を兼担として追加。
・平成31年4月曽我千春教授を兼担として追加。
・平成31年4月石川敦夫教授を兼担として追加。
・小磯千尋准教授の担当科目を追加。
・小西賢吾准教授の担当科目を追加。
・平成31年4月中村明教授を兼担として追加。
・平成31年4月田中頌宇将講師を兼担として追加。
・平成31年4月Perez Sara講師を兼任として追加。
・平成31年4月前田昌寛講師を兼担として追加。
・平成30年9月Micheal Keenan講師退職。
・平成31年4月Helen Bissett准教授　兼任から兼担に変更。
・平成31年3月Richard Braian Curtis講師担当辞退により平成31年4月Helen Bissett准教授に担当者を変更。
・平成28年から平成30年まで横野成美准教授の選任・兼担・兼任の別の誤記載「兼担」から「兼任」に訂正。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（2） 専任教員数等

（2）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（2）－②　専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）
6	6	0	0	12	7	4	1	0	12
4	4	0	0	8					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）
7	4	1	0	12	7	4	1	0	12
[1]	[△2]	[1]	[　]	[　]	[1]	[△2]	[1]	[　]	[　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（2）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（2）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{3}{12} = 25\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	准教授	高橋　優子	H28	必修	基礎ゼミナール	①	H28.4他大学就任のため就任辞退（28）
				選択	宗教学/Religious Studies	①	
				選択	比較文化	①	
				選択	Religion and Culture	①	
				選択	Christionaty and Culture	①	
				必修	Major Study Seminar Ⅰ	①	
				必修	Major Study Seminar Ⅱ	①	
				必修	Graduation Thesis	①	
2	准教授	岡　達哉	H30	選択	Hospitality	②	教員間のトラブルのため就任辞退（30）
				選択	Tourism Industry	①	
				選択	Tourism Management	①	
				選択	Tourism Information	①	
				選択	Tourism English Ⅰ	①	
				選択	Tourism English Ⅱ	①	
				必修	Major Study SeminarⅠ	①	
				必修	Major Study SeminarⅡ	①	
				必修	Graduation Thesis	①	

合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2　人	必修	7　科目	必修	7　科目	必修	0　科目	必修	0　科目		
	選択	10　科目	選択	9　科目	選択	1　科目	選択	0　科目		
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目		
	計	17　科目	計	16　科目	計	1　科目	計	0　科目		

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1		該当なし					

合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目		
	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目		
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目		
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目		

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2　人	必修	7　科目	必修	7　科目	必修	0　科目	必修	0　科目		
	選択	10　科目	選択	9　科目	選択	1　科目	選択	0　科目		
	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目		
	計	17　科目	計	16　科目	計	1　科目	計	0　科目		

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{12} = 16.66\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0　科目	必修		科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0　科目	選択		科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0　科目	自由		科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0　科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （２８年４月）	１．学生の英語力に応じグレード別にクラス編成し、IELTS6.0点という到達目標を設定しているが、英語力の低い学生も含め全ての学生がこの到達目標を達成できるよう、以下の点について学習効果が最大限発揮できるよう留意し、必要であれば計画を修正すること。	留意事項		履行済	
	(1)「英語力ステップアッププログラム（ESP）」について、グレード別の具体的な指導内容及びプログラムの全体像について整理し、学生に広く周知すること。	留意事項	(1)入学直後の１泊２日新入生研修では、「英語力ステップアッププログラム（ESP）」に関する説明を行った。まず新入生に学習の心構えを説きESPの全体的な仕組みや各レベルの内容、学習の仕方を説明した。また、各クォーター終了後には、毎回全学生を対象にガイダンスを開いて学習成果を振り返り、次の達成目標とその方法を確認する。さらに２年次の留学終了後にも同様のガイダンスを実施して学生の学習を継続的に支援していく。	履行済	(1)次年度以降はESPに関する説明を学生便覧に記載する予定である。
	(3)次のグレードクラスへステップアップできなかった学生に対し、英語力の高い職員を配置して学習方法のアドバイス、サポートを行うとしているが、効果的な学習指導を行うためには単に指導者の学力だけでなく、指導する上で適切な教授法を身につけていることが必要と思われる。職員による学習指導で十分な英語活用能力の向上効果が得られるか検証し、必要に応じて教員による学習指導を行うことを検討すること。	改善意見	(3)次のグレードクラスへステップアップできなかった学生に対しては、職員ではなく各科目担当教員が学習内容や学習方法に関して継続的に指導していく。教員が時間を設定して当該学生を個別に指導し、学習内容の理解度、課題の進捗状況、学習方法の改善等に関して細かく指導する。必要ならば当該学生と関わる他の教員と連携をとって学習向上を支援していく。	履行済	
	２．完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項		履行中	２．任期満了後は、公募で退任者と同等の教育研究業績をもつ者の採用、または新学部及び既存学部の中堅・若手教員を人材育成して登用することを計画している。
	○教養科目のうち英語で授業を行う科目が人文系社会系に偏っているが、学生が興味を持った分野の科目が幅広く英語で開講されていることが望ましいと考えられるので、検討すること。		○教養科目の興味が人文・社会系以外にある学生については、留学先大学の受講指導に際して本学の開講科目と同一又は同一とみなされる履修内容の人文・社会系以外の科目を優先して履習するように案内及び指導を実施する。	履行済	○配当年次が２年３ｸｵｰﾀｰからのため、左記状況で不十分な場合は、自然系科目を中心として担当教員が手配できる場合は英語での開講を再検討する。

	○社会調査について取り扱う「社会調査論」が追加されたが、その内容は「調査法」そのものを学ばせる内容になっていないので、さらにフィールドワークの入門的位置付けとなるような演習や実習を取り扱うことが望ましい。		○フィールドワークに関する科目については、「社会調査論」を社会調査に関する概論的内容とし、「比較文化調査演習」を、調査法を実地で学ぶ入門的科目と位置づけている。これらの科目の内容を総合し、さらに発展させた科目が、より専門的なトピックを扱う「能登フィールド演習」と「金沢文化演習」であると位置づけている。	履行済	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （２９年２月）	人文学部国際文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	２年目の入試は、実質的な英語能力を評価できるよう外部の資格試験を導入し、設置の趣旨・目的を達成するための入試を実施した。志願者数は、実人数で３人減少する結果となった。合格ラインは、昨年度より上回るところとしたが、合格者の人数は、36人増え137人となった。入学者の確保を優先するという考えではなく、アドミッションポリシーに則した入学者確保の観点から入学定員の確保に努めたが、入学者は前年度から１人増えた37人にとどまったが、入学者の学力レベルは向上していると言える。次の学生募集について、留学した学生による体験談や具体的な数値に基づいた語学力の伸びを示すことで、学習成果の周知を行い、志願者の量的拡大を実現する。	履行中	

設置計画履行状況 調　　査　　時 （３０年２月）	人文学部国際文化学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから，学生確保に努めるとともに，入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	入学者増加策として、人文学部の学生募集に特化したチームを教育職員と事務職員により結成した。チームでは学生募集担当、広報担当、制度担当等の役割を担当し、入学者増加のための活動を行った。学生募集活動として、留学から帰国した学生による海外留学の体験談や異文化に対する理解と英語力アップについて、昨年度までできなかった具体的な学部の取組について高校生や高等学校に訴求することができた。また、入試制度として英語の評定値を考慮した指定校推薦の導入を行った。留学体験談に基づいた帰国学生の留学パンフレットを２月以降の学生募集と入試の合格者へ配布し、志願・入学者増加のための対策を行った。結果として、平成30年度入試では総志願者数は345名、入学者は60名となり入学定員の80%を確保することができた。	履行済	
	人文学部国際文化学科において，定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから，定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに，教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見		履行中	任期満了後は、公募で退任者と同等の教育研究業績をもつ者の採用、または新学部及び既存学部の中堅・若手教員を人材育成して登用することを計画している。
	同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部スポーツ学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	収容定員増の学則変更の認可申請を行い、平成30年度入試では、入学定員超過の改善を行った。入学定員75名に対して76名の入学者となった。	履行済	
設置計画履行状況 調　　査　　時 （３１ 年２月）	入学定員未充足の改善に努めること。（人文学部国際文化学科）	指摘事項（改善）	入学者増加策として、人文学部の学生募集に特化したチームによる、入学者増加のための活動を引き続き行った。平成30年度入試では入学者は60名となり入学定員の80%を確保し、平成31年度は特待生入試を新設した。結果として平成31年度の総志願者数は518名、入学者は97名（女子72名男子25名）となり、入学定員の129%を確保することができた。	履行済	全学部学科を通じ、入学者の出身地は地元石川県が７割を超える。隣県での地域連携活動を促進するなど、広報面以外でも地域に求められ、理解される活動を増やしていくことを計画している。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜人文学部　国際文化学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　入学者選抜の選考方法 既存学部共通の国語、英語①に加え難易度の高い長文総合問題や英作文問題で構成する英語②を課すことで、高度な英語能力を判定する。	①　本学が指定する英語系資格等の取得者に対する優遇策を講じることで英語能力の高い志願者を獲得する。基準を満たす志願者には満点の１割を加算しているが、平成31年度入試では、資格取得時の学年（高３.高２）によるスコアを分けて示し、取得学年による差の均衡化をはかった。
②　学外実習の具体的計画 海外留学前の事前指導として、重点海外留学地域であるアジア地域において英語を公用語としていない国への留学を想定し、日常生活において支障のないように夏季休業期間を利用して約10週間の現地語ネイティブ教員による現地語を学ぶプログラムを整えている。	②　設置時の計画どおりアジア方面の留学を積極的に推進し、平成29年度は、６名がマレーシア、４名がフィリピン、１名が台湾へ留学した。英語を公用語としていない国への留学地として台湾への留学が決定した学生がいたため、現地語（中国）を学ぶプログラムを出発までの約２か月間集中で実施した。平成30年度は、２名がマレーシア、７名がフィリピン、２名の台湾に加え、新たにシンガポールへ９名がへ留学。アジア地域は、継続して重点海外留学地域とするため、以降においても具体的計画として実施していく。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

国際文化学科長が学科会議を開催している。学科会議では、学科の運営について検討し具体的な対策を検討している。

また、副学長が主催する全教員を対象としたＦＤの他、人文学部学部長が学部運営に関係するテーマを設定してのＦＤを行っている。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

学科会議は毎月第３水曜日、14時35分から16時05分に開催している。学科会議のメンバーは、人文学部所属教員に加え、人文学部の主要科目を担当する教養教育部教員６名も参加し、学部の検討事項について意見交換を行っている。2018年度から学部内で執行部を設立し、学科会議で検討する案件について検討している。執行部メンバーは学部長、学科長、学系代表教員２名の計４名で運営している。また、緊急で検討しなければならないことはこの執行部で対応している。

ＦＤ活動は、毎月第２水曜日、14時35分から16時05分に開催している。2018年度のＦＤでは、学部運営に関係するテーマを２つ設定し、前期と後期で１つずつのテーマについて検討した。参加メンバーは主に学科会議のメンバーであり、各教員が活発に議論をしている。

両活動において、海外出張等の研究活動もしくは業務以外での欠席者はなく、ほぼ全員が出席している。

ｃ　委員会の審議事項等

・新入生研修の実施方法や研修内容に関して
・学生による授業アンケートの実施と結果に関して
・留学に関するアンケートとその結果について
・英語による卒業研究報告書作成のための指導内容に関して
・留学帰国後の指導方法に関して
・専門科目を英語で教えるための授業改善に関して

② 実施状況

a 実施内容

・高等学校からの依頼による国際理解に関する講演会と留学体験談の内容の検討と実施に関すること
・保護者に対する留学ガイダンスの実施に関すること
・留学までの英語教育に関すること
・留学先の決定に関すること
・専門ゼミの決定、運営、卒業研究報告書の指導に関すること等

b 実施方法

学部長・学科長により喫緊の課題や次年度の準備等、具体的な対応について学科内で確認し、課題に関して改善と対策を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

毎月第３の水曜日の学長が定めた時間帯に実施している。海外出張等がない限り、ほぼ全員が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果により、学部長・学科長と科目担当者レベルで改善が可能な場合は、学科会議とは別に担当者間で検討するなどして改善策を検討し、実施している。内容により学科会議で検討するなどの改善策を議論し、課題を共有して改善のための取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各クォーター終了時に年間４回授業評価アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの回答は、学務システムを使用することからアンケート結果も学務システムにより学生へ公開している。教員は、担当する科目の結果を確認し、授業改善に活用している。公開内容は、設問項目ごとに円グラフで表示され、結果を一目でわかりやすく表示している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

初年度である平成28年度入試は、定員75名に対して総志願者は329名でうち入学者は36名（女子30名男子６名）であった。出願要件に英語資格等の保持を課しているが、初年度は経過措置として資格を有しない志願者にも受験を認めた。民間業者の資料によれば、入学者の偏差値は50.0であった。

入学定員確保の観点から、平成29年度入試では推薦入試は資格保持の条件を課したが、それ以外の入試では資格保持を受験資格とはしなかった。ただし、資格保持者には配点の一割を加算するという措置を講じた。総志願者は305名、入学者は37名（女子27名男子10名）で、結果的に入学者確保の観点では平成28年度入試からの改善をはかることができなかった。

平成30年度入試での入学者増加策として、人文学部の学生募集に特化したチームを教育職員と事務職員により結成した。チームでは学生募集担当、広報担当、制度担当等の役割を担当し、入学者増加のための活動を行った。学生募集活動として、留学から帰国した学生による海外留学の体験談や異文化に対する理解と英語力アップについて、昨年度までできなかった具体的な学部の取組について高校生や高等学校に訴求することができた。また、入試制度として英語の評定値を考慮した指定校推薦の導入を行った。留学体験談に基づいた帰国学生の留学パンフレットを２月以降の学生募集と入試の合格者へ配布し、志願・入学者増加のための対策を行った。結果として、平成30年度入試では総志願者数は345名、入学者は60名（女子49名男子11名）となり入学定員の80%を確保することができた。

平成31年度入試に向けては、前年度に行った学生募集方策を継続しすると共に、推薦入試では出願要件に英語資格等の保持を課しているが、高校３年時取得と高校２年時取得で要件スコアを切り分けた。一般入試・センター利用入試では資格保持者には配点の一割を加算しているが、こちらも加点対象資格の一部を、高校３年時取得と高校２年時取得で切り分け、出願しやすい環境を整えた。さらには他学科で導入していた特待生入試を新設。結果、総志願者数は518名、入学者は97名（女子72名男子25名）となり入学定員の129%という結果となった。

入学後、新入生は国際英語力判定試験であるIELTSのレベルに応じてクラス分けされ、英語力向上に向けて英語学習に取り組んだ。第１期生が受験した第１回目のIELTS（６月）では、IELTS overall 4.0が１名、4.5が６名、5.0が21名、5.5が６名、6.0が２名、第2回目のIELTS(８月)では、4.5が５名、5.0が17名、5.5が13名、6.0が１名という結果となった。この結果から、ある程度の英語力の底上げはできたと思われるが、上位層の飛躍的な英語力アップは見られなかった（IELTS 5.5以上の保有率が６月から８月にかけて22%から39%へと少し上昇）。学生は、学力結果に応じて、学部留学、ブリッジコース、Academic English Course、語学研修に分けられた。第２期生が受験した第１回目のIELTS（６月）では、IELTS overall 4.0が２名、4.5が17名、5.0が13名、5.5が４名、6.0が１名、第２回目のIELTS(８月)では、4.5が４名、5.0が20名、5.5が11名、6.0が２名という結果となった。

入学者が全員１年次に在籍中に早期留学をするという趣旨に沿って、第１期生36名が平成29年１月より留学に出発。アイルランドの協定校に11名、オーストラリアに10名，カナダに８名、アメリカに３名、ニュージーランドに３名、ハンガリーに１名留学した。そのうち27名が第２クォーター開始日（６月14日）までに帰国。最長の学生は８月18日帰国した。当初の予定ではアジア方面の留学を積極的に進めていくはずであったが、留学を予定していたマレーシアの大学からの突然のプログラム変更の通知があり、留学を希望していた４名の学生は欧米圏に留学先を変更しなければならない状況となった。第２期生37名は、平成30年１月より留学に出発。アイルランドの協定校に11名、オーストラリアに２名、カナダに８名、アメリカに１名、ニュージーランドに２名、ハンガリーに１名、チェコ共和国に１名、マレーシアに６名、フィリピンに４名、台湾に１名留学した。当初の予定であったアジア方面にも約３分の１の学生を送り出した。

帰国後の英語力の伸びを測るため、第１期生は全員が帰国後に第３回目のIELTS（９月）を受験し、IELTS overall 5.0が６名、5.5が23名、6.0が６名、6.5が１名という結果となった。約80%の学生が入学当初から0.5以上の伸びとなった。また留学を終えた第１期生は帰国後、留学中に得た価値観の変化や、他の国・文化・言語に対する興味も増加し、自分自身で計画を立てた旅行や、県が企画した国連での研修企画に応募採択されるなど、異文化理解の面でも想定以上の効果が得られていると評価できる。

本年、１期生は就職活動を開始した。設置の趣旨で示した「異文化を理解し、文化的背景の異なる人々と共に暮らし、協働することができ、困難にも強く立ち向かえるタフな人材」に育ったはずの学生が社会の要請に応え、これからの社会でグローバルな活躍をしてくれることを願っている。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・令和元年７月31日（水）

ｂ 公表方法

・本学のwebサイト上で公表予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和元年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けることが決定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和元年度）

ａ　ホームページへの公表予定の有無　　（　　有　　）

ｂ　公表有の場合の公表（予定）時期　　（　令和元年６月１日　）

ｂ　公表無の場合の特段の理由　　（　　）

（注）・　今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

学校法人 稲置学園 規程集　第３編 大学 ＞ 第２章 組織・総務

金沢星稜大学学部教授会に関する規程

（趣　旨）
第１条　金沢星稜大学学則第 33 条により、学部教授会に関する規程を次のように定める。
（組　織）
第２条　金沢星稜大学に次の学部教授会を置く。
（１）経済学部教授会
（２）人間科学部教授会
（３）人文学部教授会
２　学部教授会は、当該学部の学部長及び専任教授をもって組織する。ただし、准教授、講師、助教及び助手を加えることができる。
３　学部教授会には前項に掲げる者のほか、学部長の指名する者を加えることができる。
（任　務）
第３条　学部教授会は金沢星稜大学学則第 32 条第１項及び第２項の事項を審議し、学長に対し意見を述べるものとする。
２　学部教授会は学部及び学科ごとに、その教育上の目的を踏まえて、次に掲げる方針について審議し、学長に意見を述べるものとし、学長の承認後公表するものとする。
（１）卒業の認定に関する方針
（２）教育課程の編成及び実施に関する方針
（３）入学者の受入れに関する方針
３　前項第２号に掲げる方針の審議に当たっては、同項第１号に掲げる方針との一貫性の確保に特に意を用いなければならない。
（会　議）
第４条　学部教授会の会議は学部長が招集し、その議長となる。学部長に事故あるときは、あらかじめ学部長が指名した者が議長となる。
２　会議は定日に常会を開く。ただし、議事のないときはこの限りではない。
３　学部長が必要と認めたとき、あるいは学部教授会全員の２分の１以上の要求があったときは、臨時会を開かなければならない。
４　学部教授会は、学部教授会全員の２分の１以上の出席をもって成立する。ただし海外出張者、学校法人稲置学園就業規則第 29 条に規定する休暇取得者（年次有給休暇を除く。）及び第 49 条に該当する者は除くものとする。
５　学部教授会が必要と認めたときは、関係の事務職員の出席を求めて、その意見又は説明を聞くことができる。
（議案の提出）
第５条　常会に議案を提出しようとする者は、会議の２日前までに、これを学部長に申し出なければならない。ただし、緊急やむを得ないときは、この限りではない。
２　臨時会を要求する者は議案を提出しなければならない。
（議　決）
第６条　議事は、出席者の過半数で決する。
２　会議において、必要と認めたときは、別の表決法によることができる。
（議事録）
第７条　学部長は、会議の議事録を学長に提出し、承認を得なければならない。
２　学部長は、次回の会議に承認の結果を報告しなければならない。
（資格審査等）
第８条　教育職員の資格審査その他重要事項については、協議会において審議する。
２　前項の会議に関する事項については、別に定める規程による。
（**学科会議**）
第９条　経済学部教授会に経済学科会議及び経営学科会議を、人間科学部教授会にスポーツ学科会議及びこども学科会議を、**人文学部に国際文化学科会議を置く**。
２　**前項の学科会議を主宰し、当該学部長を補佐するために学科長を置く**。
３　**学科長は学長が委嘱し、任期は２年とする。ただし、当該学部長の任期を超えることはできない**。
４　**学科会議は、当該学科の学科長及び専任教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。ただし、助手を加えることができる**。
５　**学科会議には前項にあげる者のほか、学科長の指名する者を加えることができる**。
（合同教授会）
第 10 条　学長は、必要に応じて教授会を合同で開催することができる。
２　合同教授会の議長は学長が指名する学部長が行う。
３　学部長が必要と認めたとき、あるいは構成員全員の２分の１以上の要求があったときは、臨時会を開かなければならない。

学科会議に関する規程

４　合同教授会は、構成員全員の２分の１以上の出席をもって成立する。ただし海外出張者、学校法人稲置学園就業規則第 29 条に規定する休暇取得者（年次有給休暇を除く。）及び第 49 条に該当する者は除くものとする。
５　合同教授会が必要と認めたときは、関係の事務職員の出席を求めて、その意見又は説明を聞くことができる。
（全学教授会）
第 11 条　学長は、必要に応じて金沢星稜大学学則第 31 条及び 34 条に定める教授会を全学合同で開催することができる。
２　全学教授会の議長は学長が行う。
（委員会）
第 12 条　学部教授会に委員会を置くことができる。
２　その他必要に応じて、常時又は、臨時の委員会を置くことができる。
３　各委員会の委員は学部長が委嘱し、任期は２年とする。
（規程の変更）
第 13 条　この規程の改正には、学部教授会全員の３分の２の賛成と、理事会の承認とを得なければならない。

付　則
この規程は、昭和 46 年９月 10 日から施行する。
付　則
この規程は、昭和 48 年４月１日に一部改正し、昭和 48 年４月１日から施行する。
付　則
この規程は、平成 12 年 12 月 22 日に教授会組織の構成、委員会及び細則の改正方法を改正し、平成 12 年 12 月 22 日から施行する。
付　則
この規程は、平成 19 年２月 23 日に規程の名称並びに学則の改正に伴う条項等を変更し、平成 19 年４月１日から施行する。
付　則
１　この規程は、平成 20 年３月 21 日に組織を一部改正し、平成 20 年４月１日から施行する。
２　第２条第１項第１号及び第２号については、当分の間、共通の教授会とする。
付　則
この規程は、平成 21 年４月 24 日に合同教授会を追加し、平成 21 年４月 24 日から施行する。
付　則
この規程は、平成 25 年３月８日に会議を一部改正し、平成 25 年４月１日から施行する。
付　則
この規程は、平成 25 年９月 27 日に学科会議に関する規定を追加しその一部を改正し、平成 26 年４月１日から施行する。
付　則
この規程は、平成 27 年２月 27 日に組織及び学校教育法一部改正に伴い任務、議事録及び全学教授会を一部改正し、平成 27 年４月１日より施行する。
付　則
この規程は、平成 27 年３月６日に組織を一部改正し、平成 28 年４月１日から施行する。
付　則
この規程は、平成 28 年２月 26 日に会議及び学科会議の一部改正並びに合同教授会を追加し、平成 28 年４月１日より施行する。
付　則
この規程は、平成 29 年２月 24 日に任務を一部改正し、平成 29 年４月１日から施行する。
付　則
この規程は、平成 29 年３月 24 日に任務を一部改正し、平成 29 年４月１日から施行する。

学校法人 稲置学園 規程集　第 3 編 大学 ＞ 第 3 章 人事・服務

金沢星稜大学副学長に関する規程

（趣　旨）
第 1 条　この規程は、金沢星稜大学学則（以下「学則」という。）第 26 条に規定する金沢星稜大学副学長（以下「副学長」という。）に関する必要な事項を定める。
（定　数）
第 2 条　副学長の定数は 3 名以内とする。
（職　務）
第 3 条　副学長の職務は、学則第 27 条第 2 項に定めるもののほか、学長に事故があるときには、学長が指定した順位の上位者が職務を代行する
2　副学長のうち学長があらかじめ指定した順位の上位者が職務を代行する。
（役　割）
第 4 条　前条の職務を遂行するため、副学長の役割を次のとおりとする。
（1）学務・評価・FD 担当
学務（厚生・保健関係業務を含む。）を統括し、自己点検評価・教員業績・学生授業評価及び**ファカルティ・ディベロプメントの責任者**とする。
（2）研究支援担当
研究支援の責任者とする。
（3）地域貢献担当
地域貢献の責任者とする。
（4）国際交流担当
国際交流の責任者とする。
（5）キャリア教育担当
キャリア教育の責任者とする。
2　学長は、前項各号の役割を分担して命ずるものとする。ただし、副学長の人数により、当該役割の全て又は一部を命ずることができる。
（任　命）
第 5 条　副学長の任命は、理事長が行う。
（任　期）
第 6 条　副学長の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、学長の任期を超えることは出来ない。
2　副学長が欠けたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
（その他）
第 7 条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事長が決める。
（規程の改廃）
第 8 条　この規程の改廃は、理事会の議を経て理事長が行う。

付　則
この規程は、平成 16 年 9 月 24 日に制定し、平成 16 年 10 月 1 日から施行する。
付　則
この規程は、平成 19 年 1 月 26 日に学則の改正に伴う条項を変更し、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
付　則
この規程は、平成 25 年 9 月 27 日に定数、職務を改正並びに役割の規定を追加し一部を改正し、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
付　則
この規程は、平成 28 年 2 月 26 日に役割について一部改正し、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

ＦＤに関する規程